第3次たつの市子どもの読書活動推進計画（素案）

令和9年　月

兵庫県　たつの市

目次

第1章　第3次計画の策定にあたって …… 1

1 子どもの読書活動の意義 …… 1
2 第3次計画策定の趣旨 …… 2
3 たつの市における子どもの読書活動の現状 …… 2

第2章　第3次計画の基本的な考え方 …… 9

1 計画の目的 …… 9
2 計画の対象 …… 9
3 計画の期間 …… 9
4 計画の位置付け …… 9
5 計画の基本方針 …… 9
6 読書支援のイメージ …… 10

第3章　子どもの読書活動の推進のための取組 …… 11

1 家庭における子どもの読書活動の推進 …… 11
2 地域における子どもの読書活動の推進 …… 12
3 学校園等における子どもの読書活動の推進 …… 14
(1)保育園(所)・こども園における推進 …… 14
(2)小学校・中学校における推進 …… 16
(3)高等学校における推進 …… 21
(4)特別支援学校における推進 …… 21
4 市立図書館における子どもの読書活動の推進 …… 23
5 関係機関の連携・協力 …… 33

【資料】 …… 36
「子どもの読書活動に関するアンケート調査」 …… 36
子どもの読書活動の推進に関する法律 …… 60

第1章　第3次計画の策定にあたって

1. 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないもの」(「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条)です。そのため、子どもの発達段階に応じて、読書に親しむことのできる環境を整えることが重要です。

「小学生から高校生の読書に関する7年間の追跡調査データ」(東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所の共同実施　2015年～2022年調査、2023年公表)によると、小学校入学前に読み聞かせを「週に4日以上」受けた子どもは、「週1日未満」の子どもと比べて、その後の読書時間も1.5～2倍長くなる傾向があり、また、早い段階で読書習慣を身につけた子どもは、その後も長い時間読書をする傾向があります。 さらに、1日の読書時間が1時間以上の「多読層」の子どもは、それよりも読書時間が短い子どもたちの層と比べて、理解・思考・表現の能力に対する自己評価が高くなっています。また、1日の読書時間が5～30分の「中間層」、そして「多読層」の子どもは、1日の読書時間が0分の「不読層」の子どもに比べて、ニュースへの関心が高い、自分への自信がある、将来の目標が明確であるといった傾向があります。

このことから、小学校入学前に本に親しむ習慣を身につけることが、子どもの読書活動において極めて重要であり、読書習慣が子どもの生きる力の形成に大きく関わるものであることがうかがえます。

次に、発達段階に応じた読書活動の意義について、乳児期は、言葉の土台をつくる時期です。保護者や、身近な人と絵本の読み聞かせを通じて気持ちを通わせ、安心感や信頼感を得る中で、しぐさや音声が言葉に置き換えられていきます。安定した人間関係の中で、絵本の読み聞かせやわらべうたなどが、言葉の土台となります。

就学前の時期は、身近な大人が読み聞かせを通じて子どもの読書に関わる重要な時期です。文字を覚える前の、耳から聞いた言葉を心に刻む能力は大きく、絵本や物語の中の主人公に自分を重ね合わせてお話を楽しむことで、子どもの世界は飛躍的に広がります。

就学後は、物語を楽しむ読書に加え、調べる読書、考えを深める読書、課題を解決する読書へと広がっていきます。思春期には一人ひとりの興味や悩みに応じて、自分の生き方や社会について考える本と出会う機会が求められます。

2. 第3次計画策定の趣旨

このように、子どもの「生きる力」を育み、心豊かに生きる基盤となる読書活動を、子どもの成長期の基礎教育として捉えることは、子ども自身の将来のためにも、そしてこれからの社会の発展のためにも極めて重要です。

本市では、国の「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月公布・施行）及び「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、並びに兵庫県の「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を受け、すべての子どもが読書に親しむことができる環境を整備するため、5年間にわたる施策の基本的な方向性と具体的な取組を示す「たつの市子どもの読書活動推進計画」（第1次計画：平成29年度～令和3年度、第2次計画：令和4年度～令和8年度）を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。

このたび、第2次計画が令和8年度末をもって計画期間を満了することから、これまでの取組の成果と課題を検証するため、令和8年7月に市立学校園を対象にアンケート調査を実施するとともに、教育関係機関の取組状況評価を実施しました。

また、第2次計画の期間中には、人口減少の進行や、感染症の拡大を契機とした社会の急激なデジタル化など、社会情勢が大きく変化しました。とりわけ ICT（情報通信技術）や AI（人工知能）の進展は著しく、DX（デジタルトランスフォーメーション）によって生活環境は日々変化し続けています。一方、子どもを取り巻く環境もまた、大きく変化しています。情報通信機器や動画・ゲーム等の普及、生活時間の多様化、家庭環境の変化は、子どもが本に触れる時間や場所に影響を与えています。

これらを踏まえ、「第3次たつの市総合計画」に基づき、本市の子どもの読書活動をより一層推進するために、近年の子どもを取り巻く社会環境の変化を踏まえ、持続可能な内容に見直しを行い、今後5年間の基本的方針を定める「第3次たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定します。

3. たつの市における子どもの読書活動の現状

本市における子どもの読書活動の実態を把握するため、令和8年7月に市内の小・中学校の児童・生徒、就学前4・5歳児の保護者を対象に、子どもの読書活動に関するアンケート調査[※1]を実施しました。

※1【子どもの読書活動に関するアンケート調査】

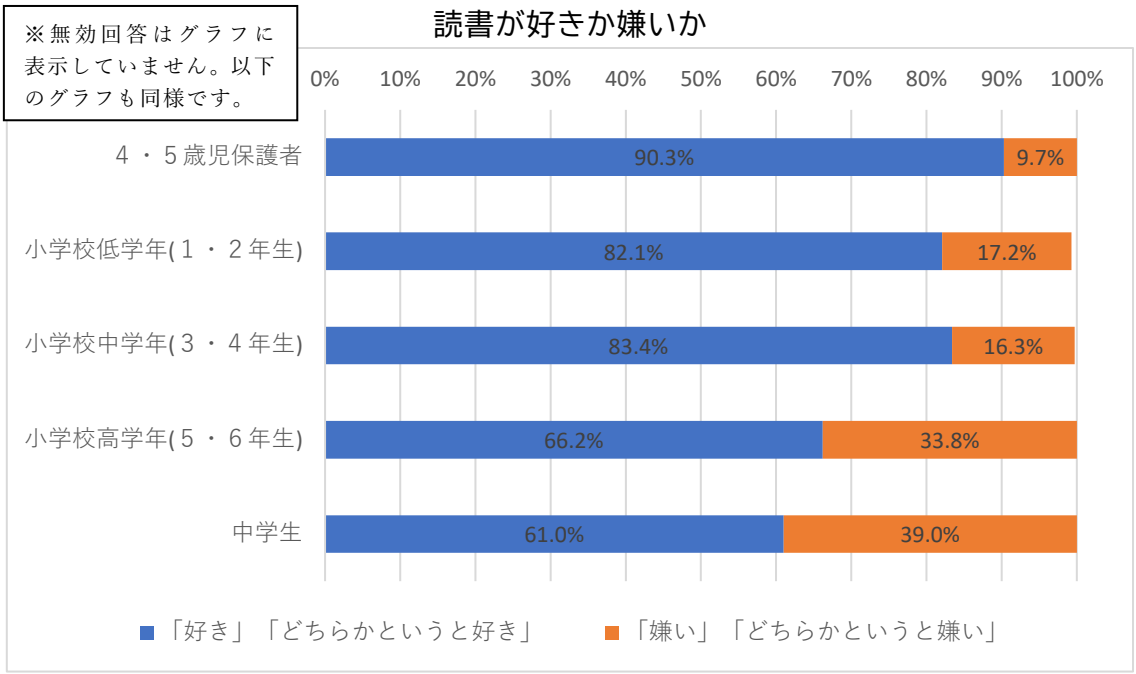
市内小学校17校の児童、中学校6校の生徒、保育園（所）・こども園27園所、各園所の4・5歳児の保護者を対象に実施。（アンケート結果は37～59ページ参照）

（1）　読書に対する意識（読書が好きか嫌いか）

「本を読むのは好きですか」という質問に対して、「好き」「どちらかというと好き」と答えた児童・生徒は、小学校低学年では82.1%、小学校中学年では83.4%、小学校高学年では66.2%、中学生では61. 0%でした。

本市では、小学校低学年・中学年では8割を超える児童が読書を好きだと答えている一方で、小学校高学年・中学生では6割台にとどまっています。また、自分の子ども（4・5歳児対象）は、本を読むのが「好きだと思う」「どちらかというと好きだと思う」と感じている保護者は90.3%と高い割合となっています。

※無効回答はグラフに表示していません。以下のグラフも同様です。

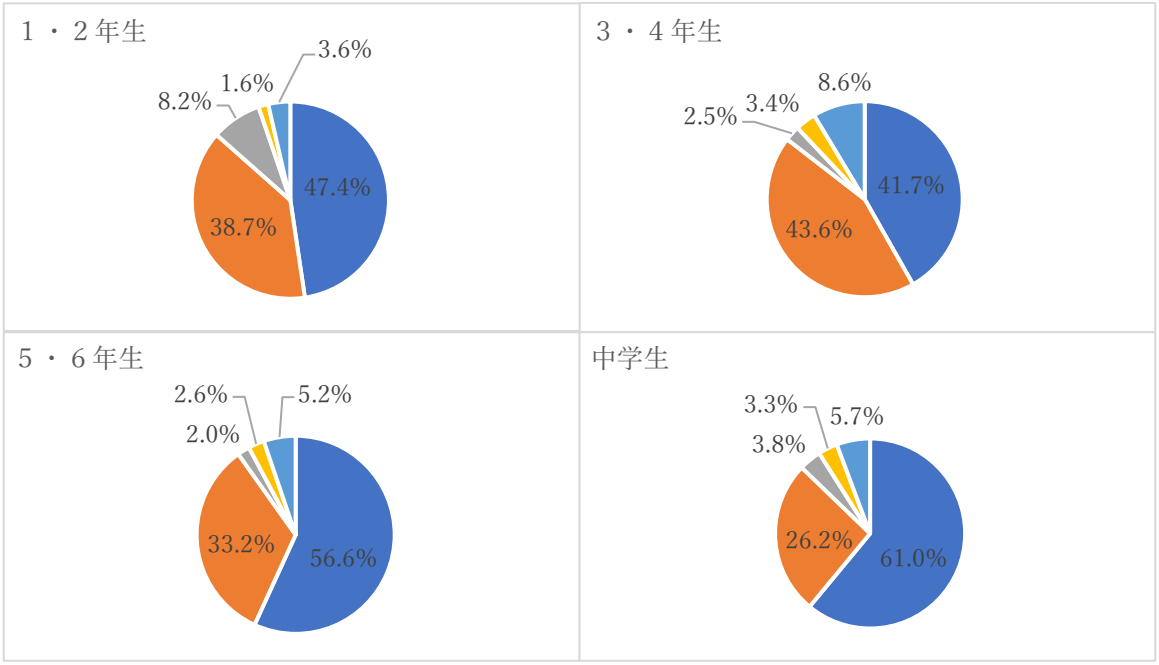


（2）本を読む理由、読まない理由

本を読むのが「好き」「どちらかというと好き」と回答した児童・生徒に、その理由を尋ねたところ、「楽しいから、おもしろいから」という回答が最も多く、次いで「色々なことが分かるから」となっています。

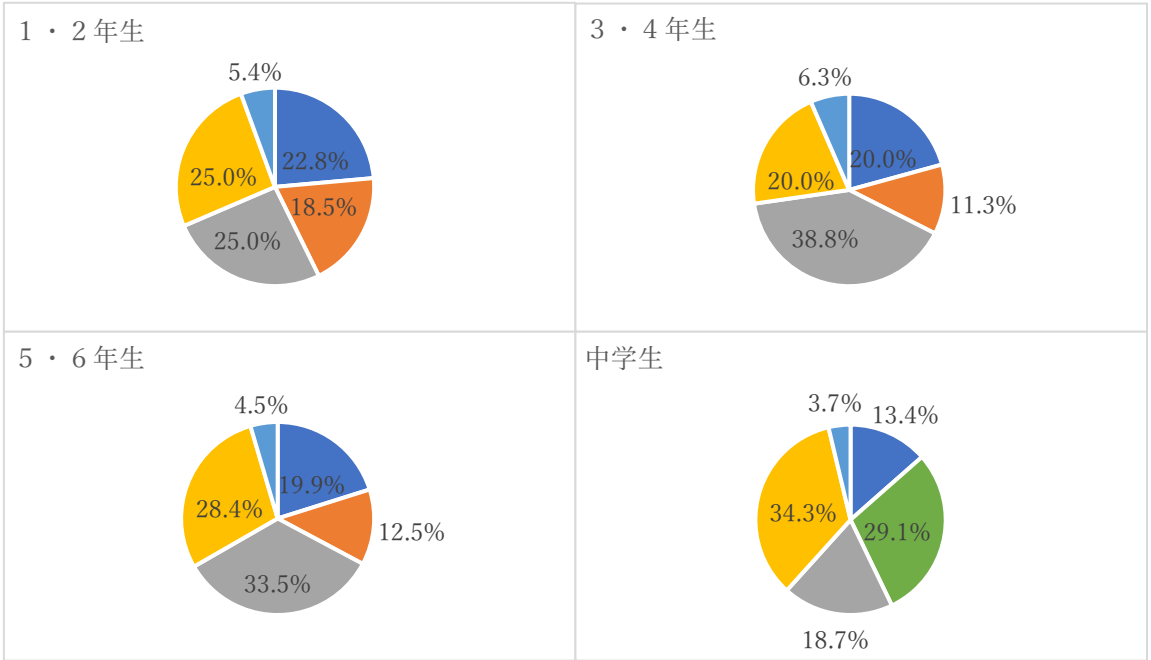
一方、本を読むのが「嫌い」「どちらかというと嫌い」と回答した児童・生徒に、その理由を尋ねたところ、小学校では「スポーツなど、外で遊ぶ方が楽しいから」という回答が最も多く、中学生では「インターネット・ゲーム・テレビの方が楽しいから」という回答が最も多くなっています。

本が好きな理由



	楽しいから、おもしろいから		色々なことが分かるから		先生や家の人にすすめられたから
	友達が読んでいたから		その他		

本が嫌いな理由



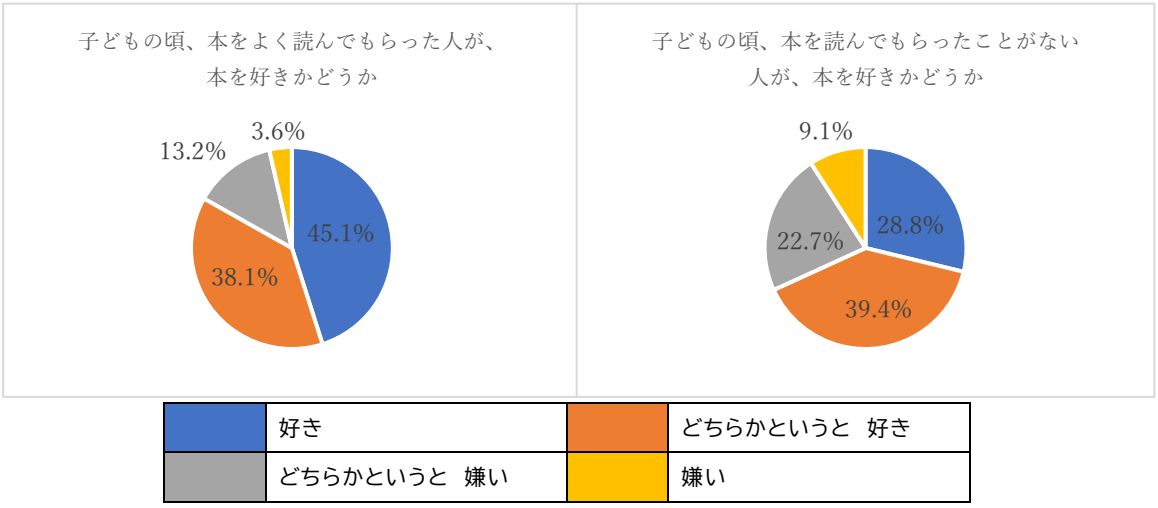
	読みたい本がないから		自分で読むのは、たいへんだから		読書や活字が嫌いだから
	スポーツなど、外で遊ぶ方が楽しいから		インターネット・ゲーム・テレビの方が楽しいから		その他

また、家庭における読書環境と読書に対する意識との関連についてみると、小学校3～6年生では、「子どもの頃、家の人に本を読んでもらいましたか」という質問に対して「よく読んでもらった」と回答した児童のうち、本を読むのが「好き」「どちらかというと好き」と回答した割合は83.2%でした。一方、「読んでもらったことがない」と回答した児童は、本を読むのが「好き」「どちらかというと好き」と回答した割合は68.2%となっており、幼少期に家庭で読み聞かせをしてもらった経験の有無によって、読書に対する意識に差がみられました。

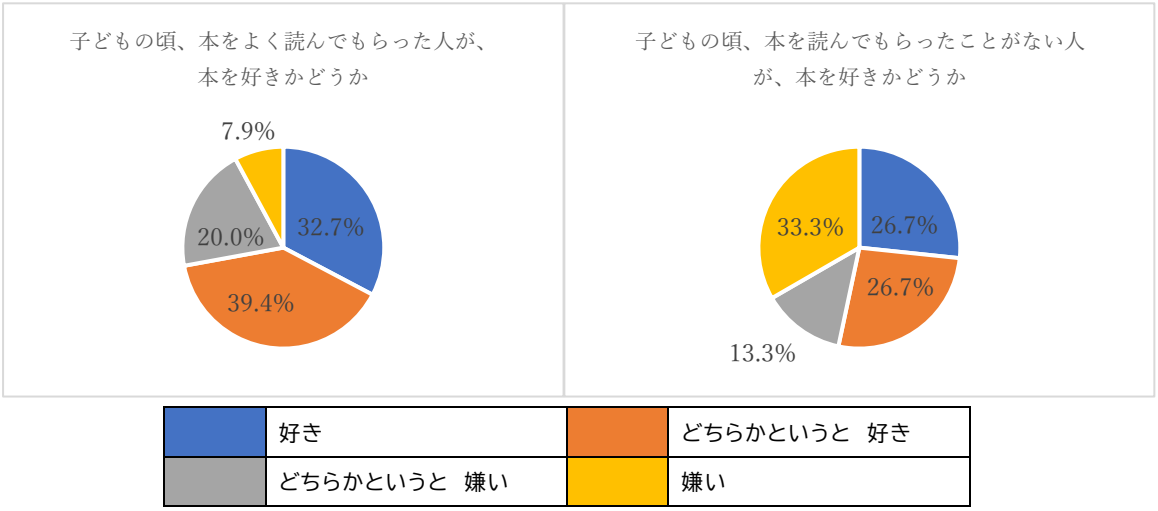
中学生においても同様の傾向がみられ、「よく読んでもらった」と回答した生徒のうち、本を読むのが「好き」「どちらかというと好き」と回答した割合は72.1%であったのに対し、「読んでもらったことがない」と回答した生徒では53.4%となっています。

これらの結果から、幼少期に家庭で読み聞かせをしてもらう経験は、その後の読書に対する興味・関心と関連していることがうかがえます。

家庭での読書環境と読書に対する意識（小学校3～6年）



家庭での読書環境と読書に対する意識（中学生）



(3)読書量

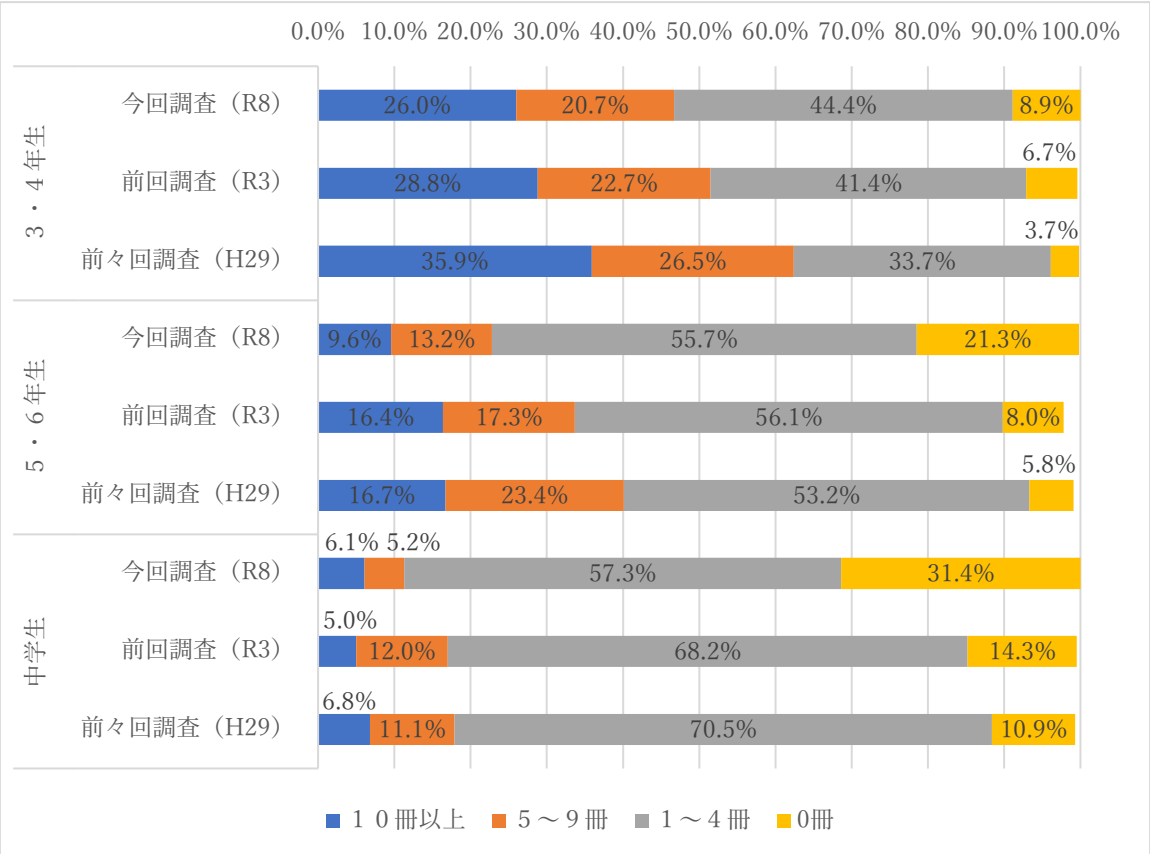
①　1か月に読む冊数の割合(小学校中学年以上を対象に調査)

1か月に何冊ぐらい本を読むかという質問では、1か月に5冊以上本を読むと回答した児童・生徒が小学校中学年で46.7%、小学校高学年で22.8%、中学生では11.3%でした。学年が上がるにつれて、専門的な本や読み応えのある本を読むなど、1冊あたりの読書時間が増える場合もあるため、読書量を冊数のみで一概に評価することはできませんが、学年が上がるほど読む冊数は少なくなる傾向にあります。

1か月に全く本を読まない児童・生徒の割合(不読率)は、小学校中学年で8.9%、小学校高学年で21.3%、中学生で31.4%と、前回調査と比較して不読の傾向が強まっています。第70回学校読書調査※2(全国 SLA 研究調査部実施)によると、2025年度の全国の小学生(4～6年生)の不読率は9.6%、中学生は24.2%となっており、本市の不読率は全国平均を超える状況であり、一層の改善が求められる課題となっています。

※2【学校読書調査】 全国学校図書館協議会と毎日新聞社が共同で実施している全国の小・中・高等学校の児童生徒の読書状況についての調査

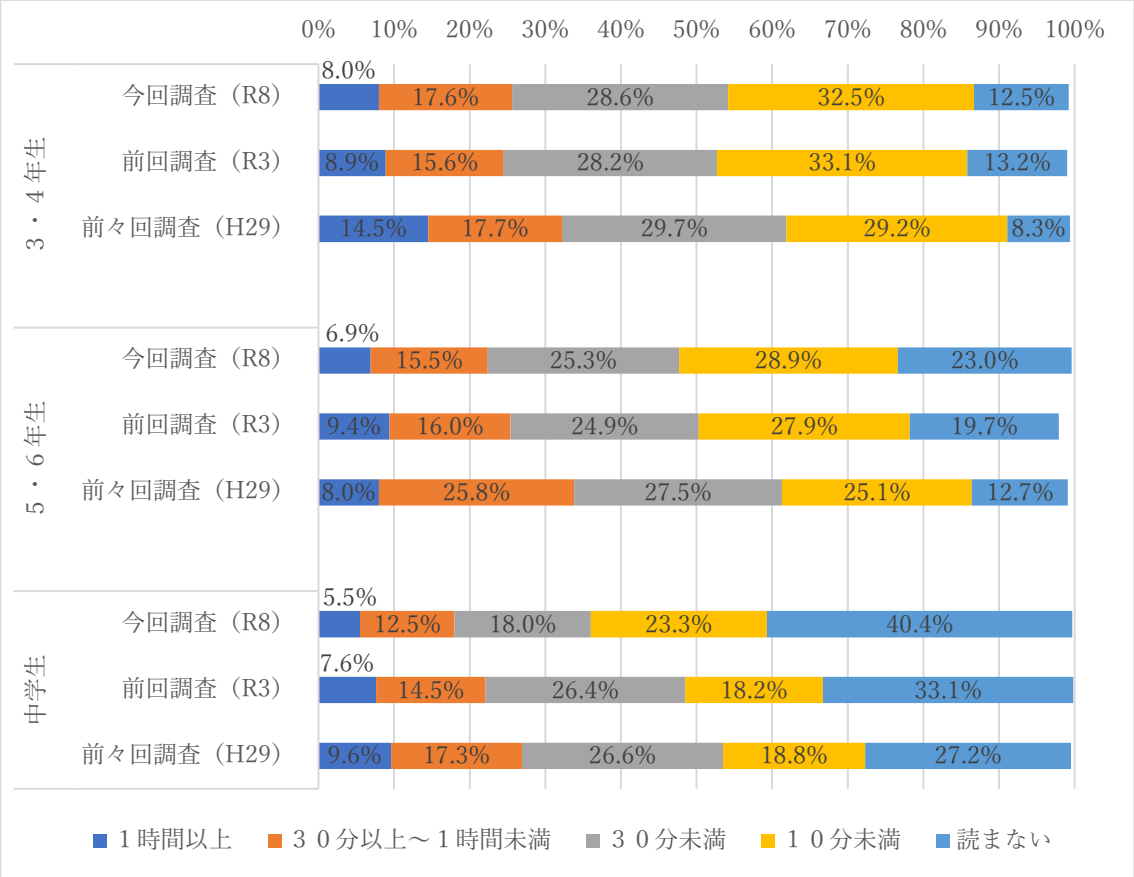
1か月に読む割合



② 1日のうち本を読む時間（小学校中学年以上を対象に調査）

朝の読書など学校で一斉に読む読書以外で、1日にどれくらいの時間本を読んでいるかという質問では、「全く読まない」と答えた児童・生徒は小学校中学年で12.5%、小学校高学年で23.0%、中学生では40.4%でした。前回調査では、小学校中学年で
13．2%、小学校高学年で19.7%、中学生では33.1%だったことから、小学校高学年、中学生においては不読率が増加しています。また、学年が上がるにつれて不読率が高くなる傾向が見られ、特に中学生では約4割の生徒が、読書の時間を確保できていない状況がうかがえます。

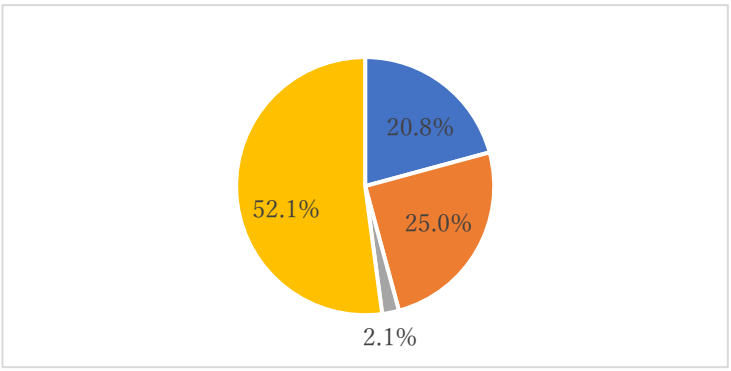
一日のうち本を読む時間



不読率が最も高い中学生を対象に、読書をする時間が取れない理由を聞くと、「インターネット（動画サイト、SNS）、ゲーム、テレビ」と答えた生徒が最も多く、半数以上の生徒が理由としています。次いで多かった理由には「塾、習い事」を挙げています。また、1日のうちで、インターネット、スマートフォン、ゲームなどの電子メディア・映像メディアに接している時間についての問いでは、「1時間以上電子メディア・映像メディアに接している」と答えた

生徒は90．1%となっています（53ページ参照）。さらに、1日に本を読む時間を聞くと、1時間以上と答えた生徒は5.5%であったことから（50ページ参照）、電子メディア・映像メディアの利用時間が、読書時間を大きく上回っている状況がうかがえます。

読書をする時間が取れない理由（中学生）



	部活動		塾、習い事
	家事の手伝い		インターネット（動画サイト、SNS）・ゲーム・テレビ

第2章　第3次計画の基本的な考え方

1. 計画の目的

たつの市のすべての子どもが、いつでも、どこでも本に親しみ、豊かな読書活動を行うことができる環境を整備することを目的とします。

2. 計画の対象

0歳から18歳までのすべての子どもを対象とします。

3. 計画の期間

令和9年度から令和13年度までの5年間とします。

4. 計画の位置付け

「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき、以下の計画との整合性を図ります。

国:「第5次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(令和5年度～9年度)

県:「ひょうご子どもの読書活動推進計画(第5次)」(令和6年度～10年度)

市:「第3次たつの市総合計画」(令和9年度～18年度)【企画政策課】

「第4次たつの市教育大綱」(令和9年度～13年度)【教育総務課】

「第4次たつの市教育振興基本計画」(令和9年度～13年度)【教育総務課】

5. 計画の基本方針

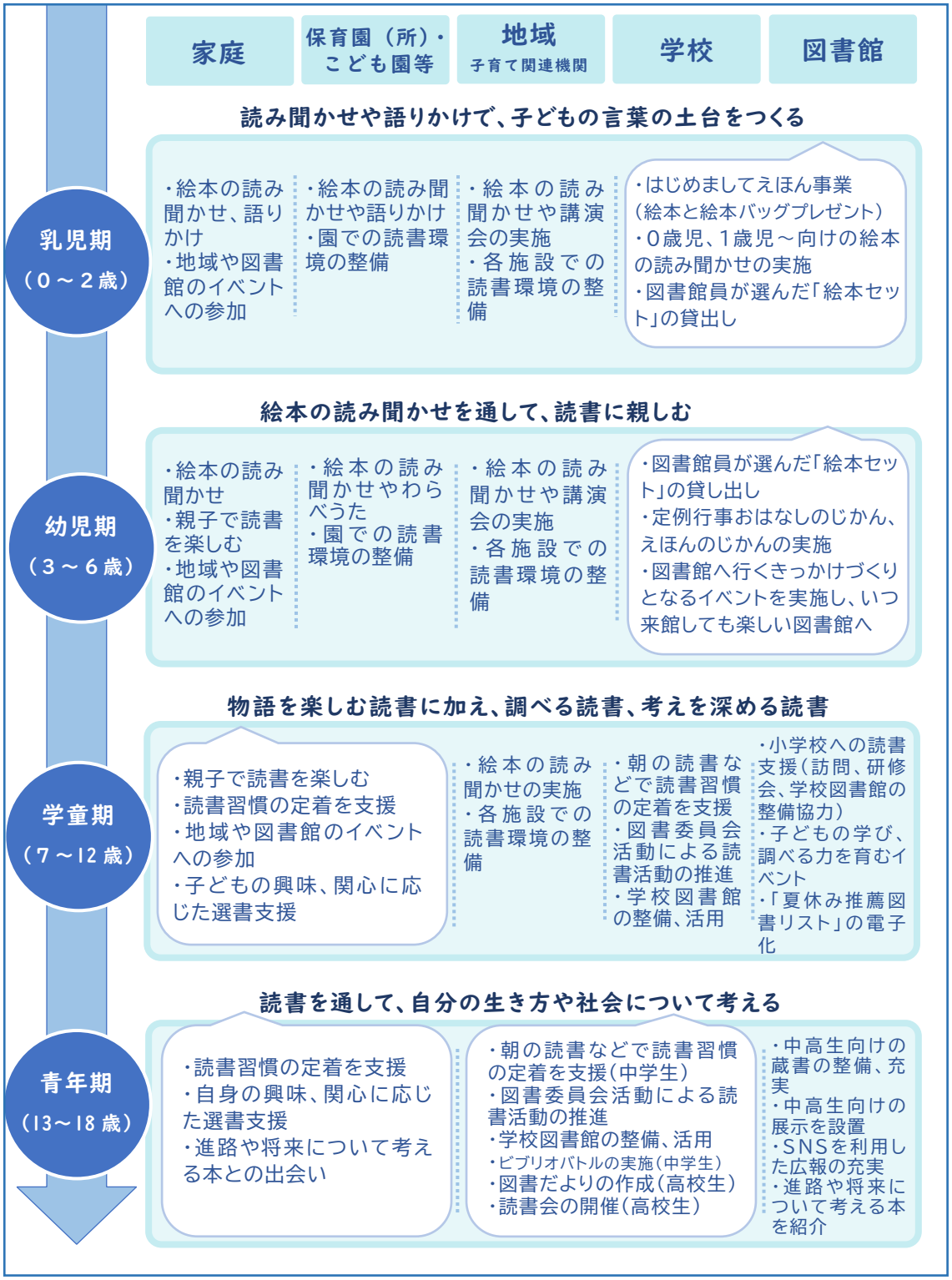
「読むよろこび、知るたのしさ、つながる未来」

・子どもの読書活動を支える環境の整備と充実

・読書活動の推進に向けた家庭、地域、学校園、図書館の連携・協力

・子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発

6. 読書支援のイメージ


家庭
保育園（所）・こども園等
地域
子育て関連機関
学校
図書館
読み聞かせや語りかけで、子どもの言葉の土台をつくる
乳児期（0～2歳）
・絵本の読み聞かせ、語りかけ
・地域や図書館のイベントへの参加
・絵本の読み聞かせや語りかけ
・園での読書環境の整備
・絵本の読み聞かせや講演会の実施
・各施設での読書環境の整備
・はじめましてえほん事業（絵本と絵本バッグプレゼント）
・0歳児、1歳児～向けの絵本の読み聞かせの実施
・図書館員が選んだ「絵本セット」の貸出し
絵本の読み聞かせを通して、読書に親しむ
幼児期（3～6歳）
・絵本の読み聞かせ
・親子で読書を楽しむ
・地域や図書館のイベントへの参加
・絵本の読み聞かせやわらべうた
・園での読書環境の整備
・絵本の読み聞かせや講演会の実施
・各施設での読書環境の整備
・図書館員が選んだ「絵本セット」の貸し出し
・定例行事おはなしのじかん、えほんのじかんの実施
・図書館へ行くきっかけづくりとなるイベントを実施し、いつ来館しても楽しい図書館へ
物語を楽しむ読書に加え、調べる読書、考えを深める読書
学童期（7～12歳）
・親子で読書を楽しむ
・読書習慣の定着を支援
・地域や図書館のイベントへの参加
・子どもの興味、関心に応じた選書支援
・絵本の読み聞かせの実施
・各施設での読書環境の整備
・朝の読書などで読書習慣の定着を支援
・図書委員会活動による読書活動の推進
・学校図書館の整備、活用
・小学校への読書支援（訪問、研修会、学校図書館の整備協力）
・子どもの学び、調べる力を育むイベント
・「夏休み推薦図書リスト」の電子化
読書を通して、自分の生き方や社会について考える
青年期（13～18歳）
・読書習慣の定着を支援
・自身の興味、関心に応じた選書支援
・進路や将来について考える本との出会い
・朝の読書などで読書習慣の定着を支援（中学生）
・図書委員会活動による読書活動の推進
・学校図書館の整備、活用
・ビブリオバトルの実施（中学生）
・図書だよりの作成（高校生）
・読書会の開催（高校生）
・中高生向けの蔵書の整備、充実
・中高生向けの展示を設置
・SNSを利用した広報の充実
・進路や将来について考える本を紹介

第3章　子どもの読書活動の推進のための取組

本計画の基本方針に基づき、家庭・地域・学校園及び図書館が、それぞれの立場において、子どもの読書活動を推進するための支援を実施します。

なお、「第２次たつの市子どもの読書活動推進計画」における取組の評価については、各取組項目を点検し、評価点に換算して、その平均値を以下の評価ランク（A～D）で表しています。

A　十分な取組がなされた
B　相当程度の取組がなされた
C　取組がやや不十分である
D　取組が不十分である

1. 家庭における子どもの読書活動の推進

①　子どもの読書活動の推進における家庭の役割

家庭において子どもが本と出会うきっかけをつくり、発達段階に応じた読書環境の整備を図ることは、読書を生涯にわたる習慣として定着させる上で重要です。これは、乳幼児期からの読書体験が、言語能力、想像力及び感受性の育成に資するとともに、親子のふれあいを通じて人や言葉への関心や信頼感を育む基盤となるためです。また、家庭において日常的に本に親しむ機会を確保することは、読書習慣の形成を促し、子どもの健やかな成長と豊かな心の育成につながります。「子どもの読書活動に関するアンケート調査」によると、子どもの頃、家庭で本を読んでもらっていた小学校中学年以上の児童・生徒の多くが読書が「好き」「どちらかというと好き」と答えています（5ページ参照）。このように、子どもが本に親しみ、進んで読書をする習慣を身につけられるか否かは、家庭での読書環境が影響していることがうかがえます。

②　第３次計画での家庭における子どもの読書活動への関わり

家庭で、子どもを中心に本を媒介として、家族全員が読書に親しむ環境をつくることで、子どもの読書習慣を定着させることを目指します。

４・５歳児の保護者へのアンケートでは、「読書（読み聞かせ）は子どもの健やかな成長に重要であると思いますか」という問いに対して「とても重要」「ある程度重要」と答

えた保護者は、99.1％と高い割合で読書の重要性を認識しています（54ページ参照）。しかしながら、共働き家庭の増加に加え、デジタル技術の急激な進展など、社会状況の変化により家庭で子どもが読書に親しむ時間を確保することが難しくなっている現状があります。今後は各機関において、保護者が子どもの読書活動への理解を更に深め、家庭で実践していくことができるよう、時代に即した支援を充実させることが必要となります。

2.地域における子どもの読書活動の推進

子育てつどいの広場・中央児童館

本市には「子育てつどいの広場」「中央児童館」などさまざまな子育て関連機関があり、子どもと保護者が自由に遊びに行くことができる場所を提供するとともに学習会や講座、グループ活動、子育て相談などを行っています。

取組	第1次	第2次
読み聞かせの実施	B	A
計画的な図書の購入	B	B
講演会の開催	B	C

現状と課題	
	1日に複数回の読み聞かせの実施を通じて、言葉や他者との関わりに対する興味・関心の育成が図られています。今後も継続的な実施が見込まれる一方で、対象年齢に幅があるため、一人ひとりの発達段階に応じた絵本の選定が課題です。また、講演・読み聞かせ会を通じて保護者や子どもが絵本に親しむ機会を提供できていますが、新たな講師の発掘に注力する必要があります。

はつらつセンター

本市では、市民の健康の拠点となるはつらつセンターにおいて、母子保健、健康診査、健康相談、健康教育、保健指導等を行っています。

取組	第1次	第2次
図書館との連携	B	B
読み聞かせや語りかけの意義や必要性の発信	B	B

現状と課題	7・8か月児相談時の「はじめましてえほん事業」※3や「たつの子ナビ」※4を活用した広報により親子が絵本に親しむ機会を創出してきました。デジタル機器普及を踏まえ、図書館と連携しながら家庭での読み聞かせ習慣の定着に向けた啓発を継続していきます。

※3【はじめましてえほん事業】 赤ちゃんと保護者が絵本を介して心ふれあう時間を持つきっかけをつくるために、市立図書館が行っている事業。7・8か月児相談時に実施。

※4【たつの子ナビ】 本市の子育て応援アプリ。妊娠から出産・子育てまでに役立つ機能が無料で利用できる。

放課後児童クラブ

市内の16校（龍野7、新宮5、揖保川3、御津1）に放課後児童クラブがあります。

放課後児童クラブは放課後や学校の長期休業期間において、子どもが安全・安心に過ごせる生活の場を確保するとともに、遊びや集団生活を通じて、基本的生活習慣や社会性、自主性を育む役割を担っています。

取組	第1次	第2次
本棚の設置	B	A
支援員による読み聞かせの実施	C	C
移動図書館の利用	B	B

現状と課題	各クラブでは、本棚を設置し、蔵書の充実を図るとともに、児童が手に取りやすいよう、配置を工夫しています。一方、スペース不足により本棚の設置や増設が困難なクラブもあり、古い本の整理・更新を含め、読書環境の整備に課題が見られます。読み聞かせについては、夏休み中に実施しているクラブが多い一方、平常授業日は時間確保が難しい状況があります。また、児童の年齢や発達段階、特性に応じた対応や、適切な図書の選定に苦慮する声も見られます。移動図書館は毎月または夏休み中に利用されており、リクエストに応じた本やおすすめ本の提供が好評です。今後も、移動図書館等の活用を通じて、児童が多様な本に触れられる機会を確保するとともに、各クラブの状況に応じた読書環境の充実を図ることが求められます。

今後の取組

〇読み聞かせは対象年齢に幅があることを踏まえ、一人ひとりの発達段階に応じた絵本の選定に取り組みます。さらに、保護者や子どもが絵本に親しむ機会を提供する講演や読み聞かせ会を引き続き実施するとともに、新たな講師の発掘に向けて他施設と連携し情報収集に努めます。
〇家庭での読書習慣の定着に向けた啓発活動を継続するとともに、親子で絵本を楽しむ場や機会を積極的に設けることで、地域全体で読書文化の醸成を目指します。
〇移動図書館の利用や市立図書館からの寄贈を活用し、蔵書の充実に努めるとともに、古い本の整理や更新を進め、読書環境の改善に取り組みます。

3. 学校園等における子どもの読書活動の推進

（1） **保育園（所）・こども園**における推進

市内には保育園（所）が7園所、こども園が２０園、計２７園所（令和８年４月現在）あります。読書活動は、子どもの心を育む幼児教育には欠かせないものです。

園所では、園児がさまざまな絵本やおはなしに親しむ中で、想像力を育み、豊かな情操や言語感覚を養うことができるよう支援します。また、保護者に対して読み聞かせの大切さを伝える読書啓発を行います。

① 環境整備

取組	第1次	第2次
絵本棚の充実	B	B
予算の確保と図書の充実	B	B
本の傷みを軽減する工夫	B	B
移動図書館による本の貸出し	B	B

現状と課題	各クラスに絵本棚を設置し、年齢や季節、興味に応じた絵本を配置するなど子どもが自主的に本と親しめる環境づくりに取り組んでいますが、スペース不足や古い蔵書の入れ替えなど整備面の課題も残っています。図書の充実については「公立こども園等遊びは学び事業」※5による予算措置を活用しながら計画的な購入を進めていますが、予算の観点から図鑑など単価の高い本の整備が十分でない園もあります。絵本の補修・管理では、フィルム貼りや定期点検・防虫対策などに取り組む一方、古い蔵書の補修が追いつかない点について対策が必要です。また、移動図書館は多くの園で毎月活用され好評ですが、家庭での読み聞かせへのつながりや活用状況の格差が課題となっています。

※5【公立こども園等遊びは学び事業】 幼児教育課の事業。

② 読書支援

取組	第1次	第2次
読み聞かせの実施	A	A
絵本の貸し出しと保護者への啓発活動	C	B
保育活動における絵本の活用	A	A
講演会の開催	C	C
図書館の利用	C	C

現状と課題	毎日の保育の中で担任による読み聞かせを実施している園が多く、地域ボランティアや図書館職員の協力も得ながら子どもの感性や言葉・想像力を育む機会として定着しています。絵本は季節の遊びや行事の導入、劇遊びにも活用され、保育との結びつきが深まっています。一方、家庭への貸出し体制や保護者への読み聞かせ啓発が十分でない園も多く、保護者向け講演会も開催できていない園が大半を占めています。また、市立図書館の利用は距離や交通手段の問題から園からの訪問が難しいところも多く、移動図書館の活用や家庭からの利用を促す働きかけや、啓発活動を通じた読書環境の整備が課題となっています。

今後の取組

〇引き続き各園における日常的な読み聞かせ活動の充実を図るとともに、家庭・地域・図書館等との連携を一層強化し、子どもが身近に絵本や物語に親しむことのできる環境づくりに取り組みます。

〇家庭における読書習慣の形成を促進するため、園での貸出し体制の整備・充実を図るとともに、保護者に対して園だよりやキッズビュー※6を利用した啓発資料の配付や、保護者会等にて家庭での読み聞かせの重要性について継続的な周知に努めます。さらに、講演会については、実施方法を工夫しながら、保護者が参加しやすい形での開催を検討します。

〇市立図書館の活用については、園からの訪問が難しい地域の実情を踏まえ、移動図書館の活用や団体貸出しの充実など、園が利用しやすい仕組みづくりを整えるとともに、保護者に対して図書館サービスの周知を図り、家庭からの利用促進につなげます。

※6【キッズビュー】 保育園（所）・認定こども園向けの総合保育業務支援システム

（2）小学校・中学校における推進

市内には小学校が17校、中学校が6校あり、学校生活の中でさまざまな読書活動を推進しています。

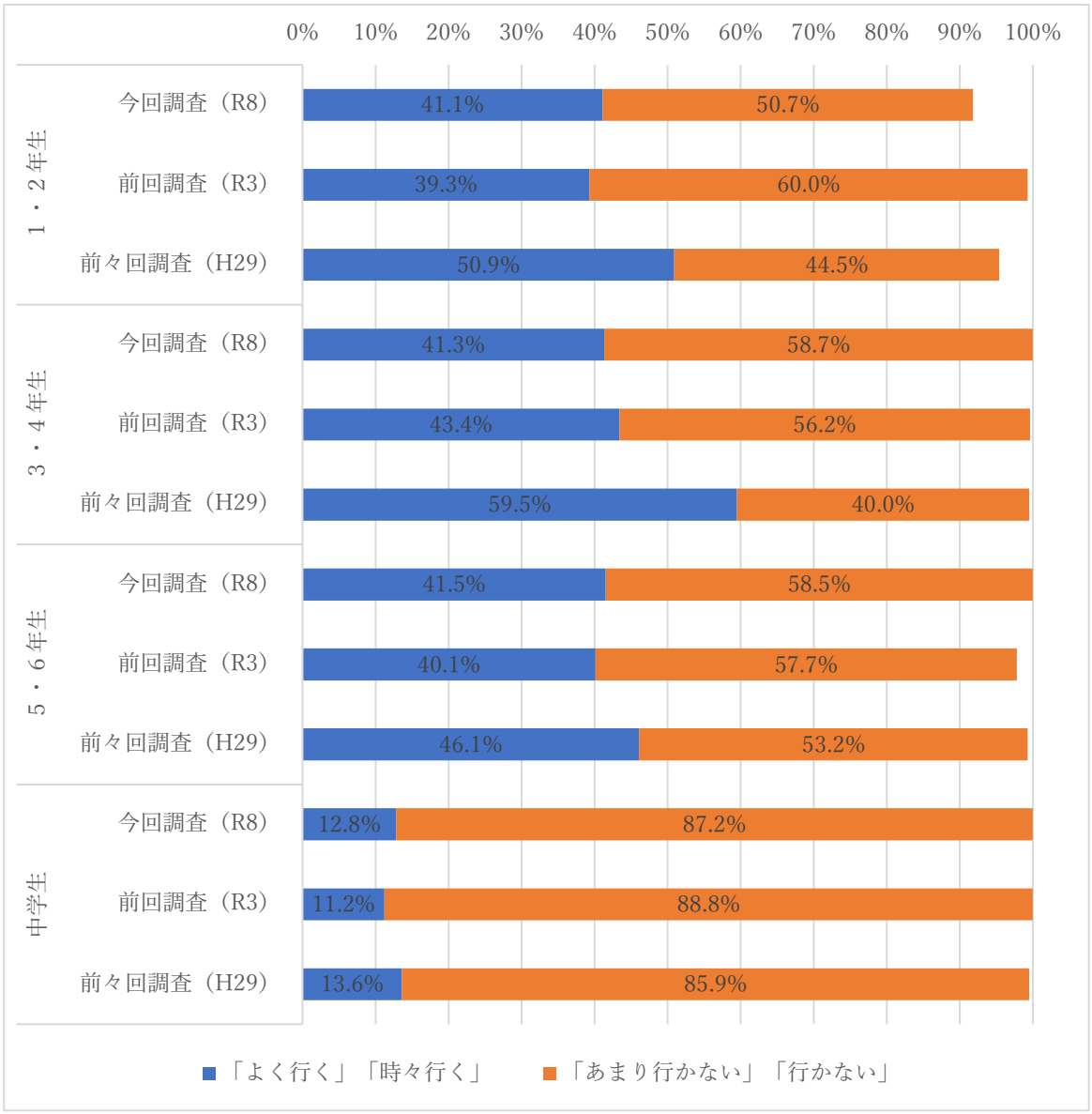
学校図書館は、読書を楽しみ、豊かな心を育む「読書センター」として、また児童・生徒の自発的・主体的な学習活動を支援する「学習センター」、知識や情報の収集、選択及び活用を支援していく「情報センター」としての機能を持ち、校内において欠かすことのできない施設です。

さらに、児童・生徒にとって安心して過ごすことのできる「心の居場所」としての機能や、家庭・地域における読書支援の拠点としての重要な役割を担っています。

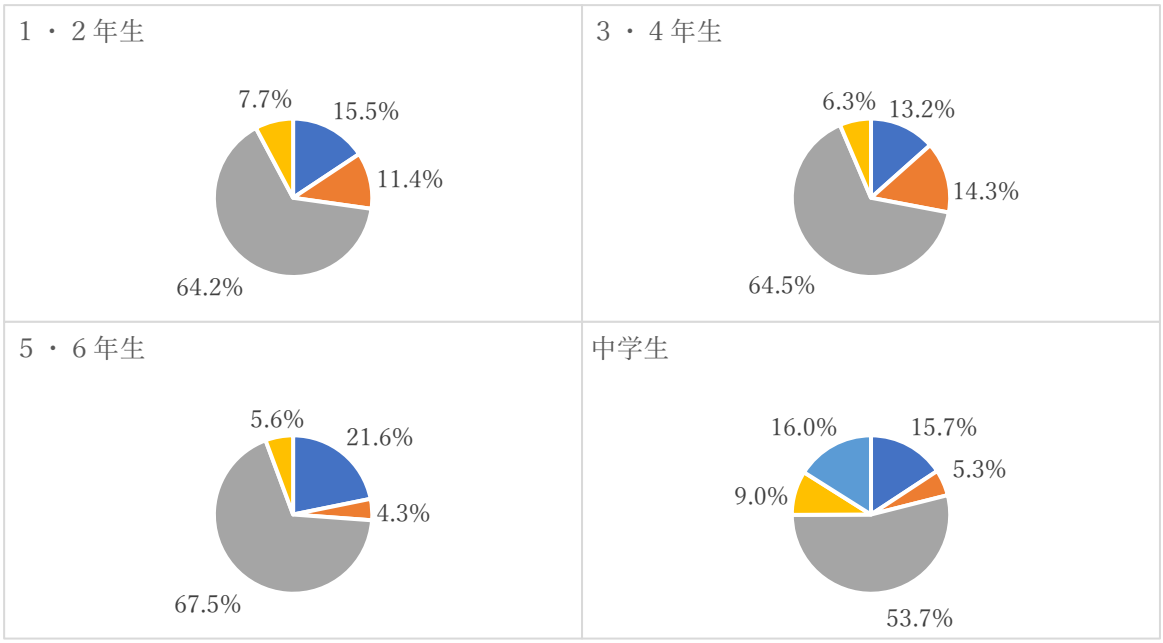
① 環境整備

「子どもの読書活動に関するアンケート調査」によると、学校図書館に「よく行く・時々行く」と答えたのは、小学校低学年が41.1%、小学校中学年が41.3%、小学校高学年が41.5%でした。一方で、中学生の87.2%が「あまり行かない・行かない」と回答しました。行かない理由としては、53.7%が「他にしたいことがある」を選んでおり、学校図書館をより魅力あるものにするとともに、子どもと本をつなげるための工夫が必要です。

休み時間に学校図書館に行くかどうか



学校図書館に「あまり行かない」「行かない」理由



取組	第1次	第2次
学校司書の配置	D	C
蔵書のデータベース化及び環境整備	B	B
学級文庫の充実	B	B

現状と課題

学校司書・司書教諭については、配置されていない学校があるほか、配置されている場合でも他の業務との兼務により、本来の業務に十分関わることができていないことが課題となっています。

蔵書のデータベース化については、効率的な蔵書管理や貸出し・返却手続きが可能となるなど、着実に進展している一方で、ICT 環境や整備状況に学校間でばらつきがあり、十分な環境が整っていない学校も存在します。統一的な基準や支援がなければ学校間の格差が固定化されるおそれがあることから、未整備校への重点的な支援など、さらなる環境整備が課題です。

学級文庫については、児童・生徒の希望を踏まえて購入している学校や、移動図書館を活用している学校など、その運営方法は学校によってさ

	まざまです。一方で、蔵書の管理や紛失防止に苦慮しているという声もあり、担任教員への負担が生じている可能性もあります。貸出し記録の整備や定期的な点検時期の設定など、管理ルールの標準化・マニュアル化による適切な維持管理が求められます。

② **小学校**における読書支援

取組	第1次	第2次
読み聞かせの実施	B	B
一斉読書（朝の読書等）の実施	B	B
授業における図書の活用	B	B
学校図書館の利用方法に関するオリエンテーションの普及	C	C
特別活動による読書フェスティバル等の実施	C	C

現状と課題	読み聞かせについては、教員や地域のボランティア、図書館職員によって実施されており、児童が本に親しむ良い機会となっています。また、朝の読書タイムや隙間時間を活用した読書を実施している学校もありますが、タブレット端末の普及により、本を読むことに慣れていない児童が増えているという課題もあり、デジタル環境と読書習慣をどのように両立させていくかが今後の重要な視点となります。 調べ学習については、タブレットを使用したインターネット検索が主流となっている中でも、市立図書館や学校図書館の資料を積極的に活用している学校があります。図書資料を通じた情報収集・活用能力の育成はデジタル化が進む時代においても引き続き重要であり、こうした取組のさらなる広がりが期待されます。 学校図書館の利用方法に関するオリエンテーションについては、積極的に実施している学校がある一方で、ほとんど実施できていない学校もあり、学校間で差が生じています。学校図書館の効果的な活用につなげるためにも、全校的な実施に向けた働きかけが必要です。 図書委員会等の活動については、多くの学校でスタンプラリーやオリジナルキャラクター募集など、児童・生徒が主体となった多彩な取組が行われており、読書活動の推進に大きく貢献しています。

③ **中学校**における読書支援

取組	第1次	第2次
一斉読書（朝の読書等）の実施	B	B
学校図書館利用方法に関するオリエンテーションの充実	C	C
生徒主体による図書委員会活動の充実	A	A
読書会※7やビブリオバトル※8等の図書イベントの開催	C	C
授業における図書の活用	C	B
図書館教育担当者間の連携と協力	B	B

※7【読書会】 特定の図書を読み、意見や感想を述べ合うこと

※8【ビブリオバトル】 発表者がおもしろいと思う本の魅力を紹介し、参加者は読みたくなった本を投票しチャンプ本を決める「知的書評合戦」

現状と課題	学校によっては始業前に読書時間を設ける取組（「朝の読書」等）を実施していますが、朝学習の時間を活用して行っているため、十分な時間が確保できていないところもあります。 一方で、図書委員会がオススメ本の紹介など読書推進に係る取り組みを積極的に行っており、生徒が主体となった活動が読書習慣の形成に貢献しています。 学校図書館の利用方法に関するオリエンテーションについては、年1回程度、学校図書館の役割や利用方法を説明していますが、さらなる利用促進につなげるための工夫が必要です。タブレットが普及している中でも、積極的に学校図書館を活用して調べ学習を行っており、図書資料を通じた情報収集・活用能力の育成が図られています。 ビブリオバトルについては、実施している学校がある一方で、時間が確保できないという学校もあり、取組状況に差が生じています。

（3）**高等学校**における推進

市内に公立高等学校は2校あります。高等学校における学校図書館は、各教科、科目に必要な知識の習得や、生徒の主体的な学びや探究活動に活用されています。

取組	第1次	第2次
学校図書館の利用方法に関するオリエンテーションの充実	B	B
生徒主体による図書委員会活動	B	A
読書会やビブリオバトルの開催	B	C
図書だよりの発行	A	A
計画的な図書の購入と廃棄	A	A
司書教諭の専任化又は学校司書の配置	D	D

現状と課題	新入生を対象とした学校図書館の利用方法に関するオリエンテーションや、説明資料の配付を行った結果、学校図書館の利用者が少しずつ増えています。図書委員会が中心となり、生徒主体で学校図書館の運営が行われており、図書だよりの作成・発行においても、新着図書の紹介や時節に合った話題を取り上げるなど、生徒が興味・関心を持てるような内容に工夫しています。 一方で、読書会を実施しているものの、紙の本を読まない生徒が増えており、読書習慣の定着に向けた取組のさらなる充実が求められます。また、専任の学校司書や司書教諭が配置されていないことが課題となっています。

（4）**特別支援学校**における推進

市内に特別支援学校は2校あります。児童・生徒の「生きる力」を育むことを目指し、読書の楽しみと共に思考力・表現力を養う読書活動を推進することが大切です。学校図書館の利用により、児童・生徒の主体的、意欲的な活動を充実させる必要があります。個人差が大きいため、子どもの状況に応じて個別の対応が望まれます。

取組	第1次	第2次
児童・生徒による図書委員会活動	C	C
計画的な図書の購入と廃棄	B	C
児童・生徒の個性や発達に応じた読書支援	C	B

現状と課題	
	図書当番による学校図書館利用の呼びかけや壁面飾りの作成など、児童・生徒が学校図書館に足を運びやすくなるような利用促進の取組が行われています。また、配架する本のリクエストを受け付け、定期的に新刊図書の購入を行っていますが、廃棄については計画的な対応がなされておらず、蔵書の適切な更新・維持管理に向けた仕組みづくりが必要です。 また、児童・生徒の発達や障害の状況はそれぞれ異なるため、個別の読書支援が難しい面もありますが、学校図書館の利用を促すなど、一人ひとりの状況に応じた支援を継続して行っていく必要があります。

今後の取組

〇学校司書・司書教諭の未配置や兼務が課題となっており、専任職員の配置に向けた段階的な取組が必要です。
〇タブレット端末の普及等により紙の本に親しむ機会が減少している現状を踏まえ、読み聞かせや「朝の読書」など、本に触れる機会を意識的に確保し、読書習慣の定着を図ります。
〇タブレットだけでなく、書籍を活用した調べ学習のため、学校図書館を積極的に活用します。また、学校図書館からの情報を発信するツールとしてスクリレ※9を活用し、効率的な利用強化に努めます。
〇児童・生徒が主体となった読書活動として、図書委員会による図書だよりの発行、スタンプラリー、本の紹介活動など、自主的な取組を引き続き行います。
〇大活字本や音声読み上げ機能など多様な読書ツールの活用を検討します。発達の状況が異なる児童・生徒一人ひとりに応じた支援を目指します。
〇揖龍中学校図書館教育部会推薦図書リストの作成・配付のように、学校間で連携・協力した取組を引き続き推進します。各校の好事例を積極的に共有し、市全体として学校図書館教育の水準向上を目指します。
〇市立図書館と担当教員で連携し、図書委員会や部活動を通じた校内での読書活動推進を図ります。

※9【スクリレ】 お便りや欠席連絡など、学校と保護者の連絡手段をデジタル化するサービス。

4. 市立図書館における子どもの読書活動の推進

第3次計画　図書館の8つの新たな取り組み

01　図書館職員が選んだ「絵本セット」の貸出し

乳幼児期からの読書支援として、図書館職員が選んだ絵本をそのまま借りられるサービスを開始します。保護者が本を選ぶ負担を減らし、家庭での読み聞かせと継続的な来館につなげます。

02　親子で参加しやすいイベントの充実

全館で定期開催している「えほんのじかん」「おはなしのじかん」の頻度や対象年齢を平準化するほか、子どもの現状に合わせ、楽しみながら本と触れ合える参加しやすい企画を行います。長期的なイベントも視野に入れ、いつ来館しても楽しい図書館となるようイベントを強化します。

03　子どもの学び、調べる力を図書館で育む

子ども自身が本を選んだり、感想やおすすめを紹介したりするイベントや、図書館の中を探検し、本での正しい調べ方、検索の仕方を学ぶ企画など、本を通して自ら考える力を育む機会につなげます。

04　「夏休み推薦図書リスト」の電子化

掲載内容を随時更新するとともに、従来の紙による配付から、いつでも利用しやすい電子媒体での配付を検討します。家庭や学校から、手軽に推薦図書リストを活用できる環境を整えます。

05　中高生向け「YA コーナー」の充実

ヤングアダルトコーナーの蔵書や選書基準を見直すとともに、学びのスペースの近くに中学生・高校生向けの展示を設置することで、学習や進路等に役立つ書籍を紹介します。

06　関係機関と図書館をつなぐ支援の充実

各学校の図書担当教諭、また関係機関の職員に向けて、読書支援についての研修会を開催します。さらに、学校図書館を図書館職員が訪問し、配架や選書への助言等を行うことで、学校での読書指導を支援します。

07　市内全小学校への読書支援体制の整備

「06　関係機関と図書館をつなぐ支援の充実」に向けて、各館の業務内容を見直し、業務の平準化を図ることで、継続的に支援を実施できる体制を整備します。

08　SNS 等を活用した広報の充実

市広報や図書館報、ホームページ等に加え、SNS や動画等を活用した情報発信を進めます。図書館のイベントや本の魅力を分かりやすく届け、子どもや保護者が利用するきっかけを増やします。

図書館は読書活動推進の拠点として、地域における子どもの読書活動を支える中核的な役割を担っています。市内には、龍野図書館、新宮図書館、揖保川図書館、御津図書館があり、互いに連携を取りながら図書館運営を行っています。市内の図書館では、児童書を、約114，400冊所蔵しており、 第2次計画の策定時点から5，900冊増加しています。（令和8年4月現在）

図書館では、児童サービスを図書館サービスの大きな柱として位置付け、年齢や発達に応じた本を揃え、豊かな読書活動を行う中で、すべての子どもが読書の楽しさを知り、情報を得て、知識を高めることができるように支援します。

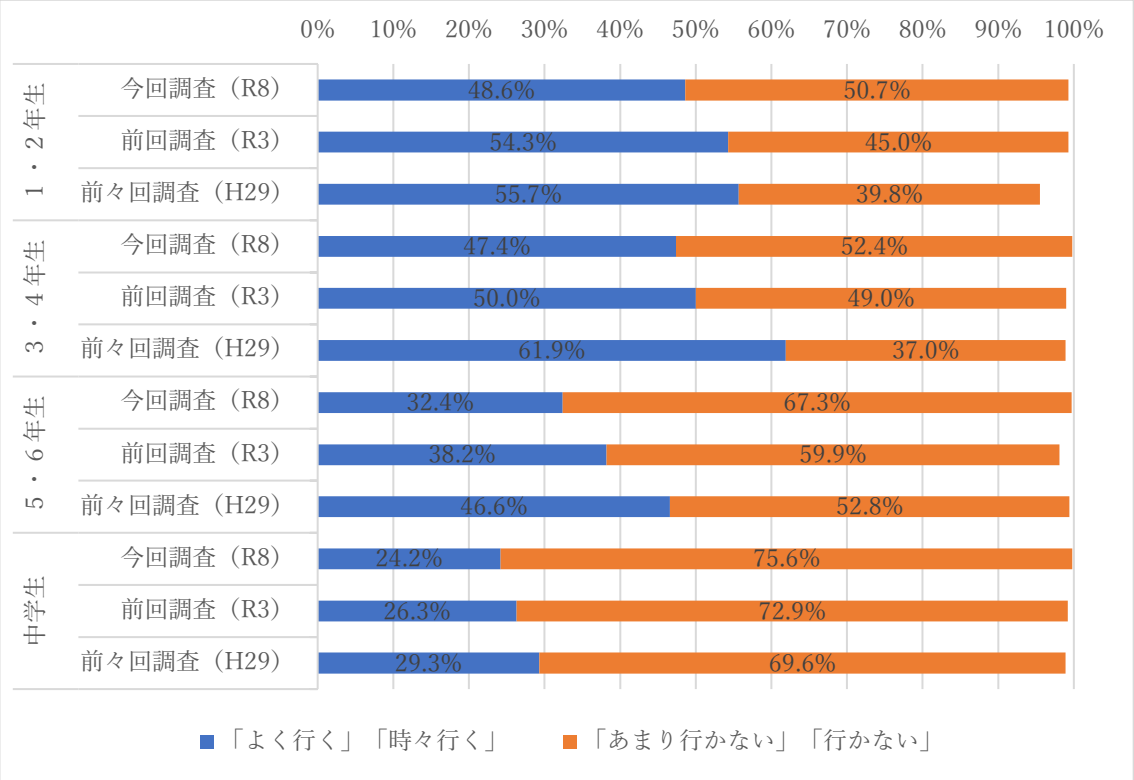
また、市内の学校園や子どもに関わる機関と連携を図り、互いに協力しながら読書推進を行います。

① **図書館**での環境整備

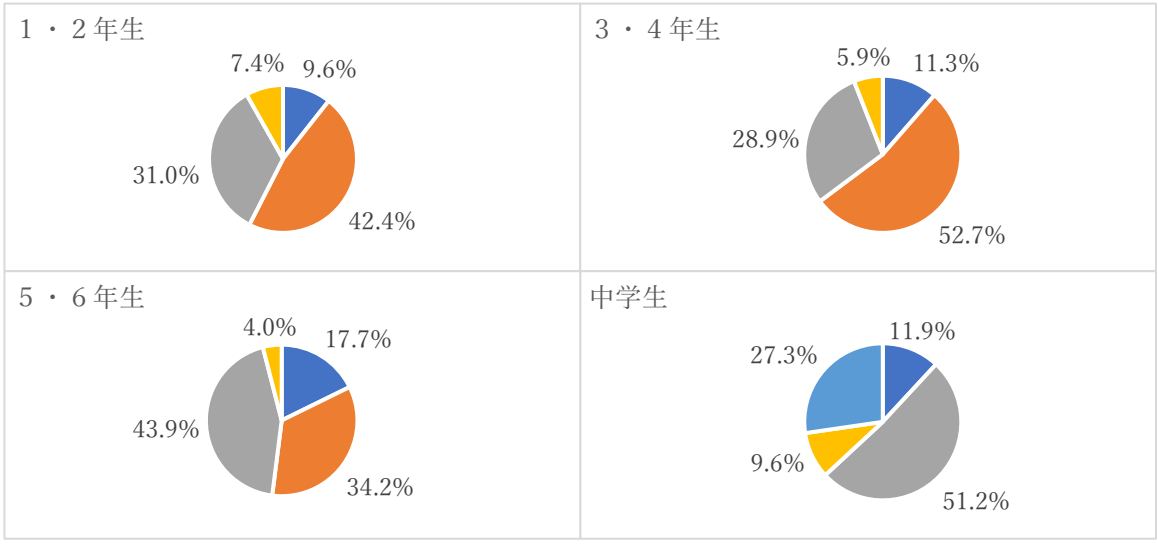
「子どもの読書活動に関するアンケート」によると、図書館に「よく行く・時々行く」と回答しているのは、小学校低学年の48.6%、小学校中学年の47.4%、小学校高学年の32.4%、中学生では24.2%となり、どの学年も減少傾向にあります。

図書館に「あまり行かない・行かない」と回答した理由としては、小学校低学年と中学年では「1人では行けないから」という回答が一番多くなっており、小学校高学年と中学生は「他にしたいことがあるから」という回答が一番多くなっています。

たつの市の図書館に行くかどうか



たつの市の図書館に「あまり行かない」「行かない」理由



取組	第1次	第2次
児童図書の計画的な購入と充実	B	A
魅力的な棚作り及び本との出会いの場の設定	B	A
サインの作成など本を利用しやすい創意工夫	A	A
特別な支援が必要な子どもへの環境整備	B	B
中学生・高校生専用のコーナーの充実	B	B

現状と課題

児童図書とは、乳幼児から中高生程度を対象として出版されたものです。どの年齢層においても人間性の形成や子ども文化の育成に役立つ書籍を収集し、資料の充実に努めてきました。絵本や物語、蔵書の核となる基本図書は、永く読み継がれてきたものや定評のあるものを選び、新刊本の購入や劣化した図書の買い換えを行っています。

また、児童コーナーは親しみが持てるように、季節や行事に合わせた壁面飾りを行い、子どもの興味に合わせた企画展示※10を行いました。本棚は絵本や物語など、本の種類によってラベルの色を変え、どんな本があるかわかるようにサインを設置することで利用しやすい環境づくりを行っています。

特別な支援が必要な子どもへの環境整備としては、コミュニケーションボードなどの整備を進めています。

	ヤングアダルト※11コーナーを設置し、学習や進路に関する本、小説等を配架しています。 課題としては、あらゆる子どもが利用しやすい環境づくりを一層進めていく必要があります。 また、ヤングアダルトコーナーについても、場所を確保し中高生に向けた展示を行うなど、貸出し促進に努める必要があります。

※10【企画展示】 テーマを決め、そのテーマに沿った本をまとめて目立つ場所に展示すること

※11【ヤングアダルト】 中学生・高校生を中心とした世代を指す言葉

今後の取組

〇今後も企画展示を行い、さまざまな本との出会いの場となるよう取り組みます。さらに、イベントの一環として子どもが主体的に参加できる新しい展示方法を検討し、子どもたちが自らの好きな本を紹介する機会の充実を図ります。
〇特別な支援が必要な子どもが利用しやすい図書館を目指し、環境整備を進めます。
〇ヤングアダルトコーナーの蔵書の増加や整備を行い、選書基準を改めて見直します。また、中学生・高校生向けの展示を学びのスペース内に導入し、学びのスペース利用者に対して書籍の紹介を積極的に行います。これにより、学びの場と読書の場を一体的に活用できる環境の整備を図ります。

② **図書館**での読書支援

取組	第1次	第2次
研修などによる図書館職員のスキル向上	B	A
家庭での読書意識の高揚	B	A
図書館報など行事のPR方法の工夫	B	A
子ども向けイベントの開催	A	A
特別な支援を必要とする子どものための資料の収集・提供	B	B

現状と課題	実際の体験を通して読書への関心を高めることを目的に、子ども向けイベントを開催しました。「おはなしのじかん」「えほんのじかん」といった継続的な行事のほか、季節に合わせたイベントを各館で随時企画しました。また、来館の際や7・8か月児相談時に、保護者の読書相談を受けることで、個々に応じた読書活動の働きかけに努めました。 PR 方法については、従来行っている市広報や図書館報、ホームページ、チラシによる方法に加え、たつの市の LINE や龍野図書館によるインスタグラムを用いて PR を行いました。 課題として、児童の保護者に対しては、乳幼児期からの読書体験が大切であることを広く周知し、意識・関心を高め、家庭での子ども読書活動の促進を図るよう努めます。 また、点字図書や LL ブック※12、電子図書館※13における電子書籍等、特別な支援を必要とする子どものためのアクセシブルな書籍について周知することが必要です。

※12【LL ブック】 知的障害や発達障害がある人などが読みやすいように、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本

※13【電子図書館】 播磨科学公園都市圏域定住自立圏連携事業の一環で、書籍や雑誌などをいつでもインターネット経由でパソコンやスマートフォン、タブレットで閲覧できるサービス

今後の取組

〇乳幼児期の本との関わりが重要であることを踏まえ、乳幼児期からの切れ目のない読書支援の一環として、図書館職員が選んだ「絵本セット」の貸出しを実施します。保護者が絵本を選ぶ負担の軽減を図るとともに、家庭での読み聞かせの充実及び継続的な来館につながる取組を進めます。

〇子どもが楽しく本と触れ合える機会を提供するために、従来のイベントを見直し、子どもの現状に合わせ参加しやすいイベントを開催できるように努めます。また、市立図書館をより身近に感じられる場とするため、来館時に継続して楽しめる工夫を取り入れるとともに、長期的な実施も視野に入れた行事の充実を図ります。

〇点字図書や LL ブック、電子図書館における電子書籍等、特別な支援を必要とする子どものためのアクセシブルな書籍について、引き続き積極的な収集に努めます。また、それらの利用促進に向けた周知・啓発を進めるとともに、電子図書館における読み上げ機能付き資料についても周知に努めます。

〇SNS の活用を含め、効果的な広報の手法について検討し、子どもの読書活動に関する情報の周知及び利用促進に努めます。

〇図書館職員各自が積極的に研修に参加し、職員全体で必要な知識の共有を図りま

す。児童サービスの知識の習得とスキルの向上によって、より良い読書支援が行えるよう努めます。

③　**保育園（所）・こども園**への読書支援

取組	第1次	第2次
移動図書館による貸出し	B	A
図書館への来館時や園所への訪問時のストーリーテリングや読み聞かせ	B	A
絵本や読み聞かせに関する講演の開催	B	B
園所からの要望収集及び情報提供	B	B

現状と課題	移動図書館の規定に基づき、一定の距離に位置する園所に対して貸し出しを行いました。園所と連携を行い、来館の難しい子どもたちに本を届けられるよう努めました。 また、市立図書館への来館や園所訪問を通して、貸出しや絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング等を実施しました。実施時には、要望や情報を収集し把握できるよう努めています。 課題としては、依頼のあった園所においては保護者に向けた講演会を行いましたが、開催に至っていない園所もあり、読書についての理解を深めるような取組が必要です。

今後の取組

〇読書支援について、園所の教員に対して市内合同研修会を行うことで、園所とより良い連携を図っていけるよう努めます。
〇乳幼児期から本に親しむ大切さを園所や保護者に伝え、乳幼児期の読書活動を支援する取組を進めます。
〇読書活動の推進に関する情報や要望の収集に努めます。

④　**小学校**への読書支援

取組	第1次	第2次
団体貸出しの実施	A	A
学校訪問の実施	B	A

図書担当教諭への利用案内・講演等の開催	B	A
夏休み推薦図書リスト作成	A	A

現状と課題	依頼に応じて、朝の読書や調べ学習用、学級文庫用として小学校に団体貸出しを行いました。また、各図書館の担当地区において、小学校を訪問してストーリーテリングや読み聞かせ、ブックトーク等を行いました。 夏休み推薦図書リストは掲載する本の選書やレイアウトを検討して作成し、本市の全児童に配付しています。揖龍小学校図書館教育部会と合同で、夏休み推薦図書リストに関連した児童書の研修会を行い、図書担当教諭との連携を進めました。 課題として、団体貸出しや小学校の訪問について、各図書館の対応が異なるため、全市内小学校に対して均一な読書支援を行う必要があります。

今後の取組

〇市内全小学校へ読書支援が行えるように、支援内容の見直しを図ります。
〇各学校の図書担当教諭に向けて、読書支援についての研修会を開催します。併せて、図書担当教諭への利用案内を実施するとともに、図書館教育部会との合同研修等を引き続き実施します。また、学校図書館の配架や選書への助言、読書相談への対応を行うほか、学校での読書指導を支援する仕組みづくりに取り組みます。
〇夏休み推薦図書リストについては、内容の充実に向けて改良を重ねます。また配付方法については、利便性の向上を図るため、電子媒体での配付を検討します。

⑤ **中学校・高等学校**への読書支援

取組	第1次	第2次
学校図書館の現状や生徒の読書傾向の把握	C	C
「トライやる・ウィーク」※14 やインターンシップの受入れ	B	A
団体貸出しの実施	D	D
学校への訪問や支援	C	C

※14【トライやる・ウィーク】 中学2年生が、1週間学校を離れ、学校・家庭・地域社会が連携し、市内の施設や事業所などで、さまざまな社会体験活動を行うこと

現状と課題	「トライやる・ウィーク」やインターンシップについては、積極的に実施しました。実施時には、学校図書館の現状や生徒の読書傾向を把握する機会として生かし、情報収集に努めました。さらに、市内全中学校に電子図書館の ID・パスワードを発行し、生徒全員が電子図書館を利用できるようにサービスを提供しました。 課題としては、中学校・高等学校ともに、読書支援の方法について検討し、現状に合わせた支援を行うことが望まれます。

今後の取組

〇各学校の図書担当教諭を対象に、読書支援についての研修会を開催します。また、中学校に対して市立図書館から読書支援を呼びかけ、連携の強化に努めます。図書担当教諭、図書委員の生徒等とコミュニケーションをとれる機会を設けるための仕組みを検討します。また、電子図書館の運用を推進するため、利用方法の周知に取り組みます。
〇高等学校との連携を強化するため、図書の貸し出しやビブリオバトルの実施を呼びかけるなど、市立図書館との連携を深める取り組みを進めます。
〇日常的に図書館を利用していない生徒や読書機会が減少している中高生に対して、読書活動を促進するための働きかけを行います。

⑥ **特別支援学校**への読書支援

取組	第1次	第2次
移動図書館による貸し出し	A	B
団体貸出し	C	C
情報提供などの連携強化	B	B

現状と課題	移動図書館で定期的に巡回し、生徒や職員の要望に応じた書籍の提供に努めました。その他、授業等で必要な資料の提供、職業訓練の一環として本のクリーニングや図書館報の製本等の作業体験、また職業体験の受入れなど、要望に応じて対応しました。 今後も継続して、依頼に応じた適切な対応を行い、学校との連携を深められるように努めます。児童・生徒とのコミュニケーションを更に密にし、読書力や興味・関心に応じた本と出会う機会をつくる必要があります。

今後の取組

〇読書支援に関する研修会への参加を担当教諭に呼びかけ、連携の強化に努めます。
〇今後も、要望に適切に応えられるように努めます。

⑦ **子育て関連機関等**への読書支援

取組	第1次	第2次
はつらつセンター等での「はじめましてえほん」の実施	A	A
子育てつどいの広場等における読み聞かせや保護者向けの講演等の開催	B	B
放課後児童クラブへの移動図書館による貸し出し	B	A
放課後児童クラブへのストーリーテリングや読み聞かせ等の実施	B	C

現状と課題	子どもの心身の発達について、はつらつセンター等において、7・8か月児相談時にすべての赤ちゃんに絵本を手渡す「はじめましてえほん」事業を実施しました。市立図書館では、平成29年度～令和7年度の期間で、対象者3，638人に絵本等の配付を行いました。市内の公立保育所・こども園の未就学児保護者に向けた「子どもの読書活動に関するアンケート」では、「はじめましてえほん」をきっかけに図書館に足を運んだとする回答が半数近くあり、多くの保護者が今後も必要であると考えていることがわかります（60ページ参照）。 子育てつどいの広場等においては、要望に応じて、わらべうたや読み聞かせなどの保護者向けの講演会を実施した施設もあり、保護者へ子どもの読書活動の重要性を伝える機会となりました。 放課後児童クラブへは夏休み期間に移動図書館、ストーリーテリングや読み聞かせを行いました。 課題としては、保護者に向けて乳幼児期からの読書活動の重要性を伝えるため、講演会の実施を働きかける必要があります。 また、すべてのクラブに対してストーリーテリングや読み聞かせの実施ができていないため、包摂的な仕組みを検討する必要があります。

今後の取組

〇担当職員を対象に、読書支援に関する研修会を開催します。
〇7・8か月児相談時の「はじめましてえほん」事業を継続的に実施し、乳幼児が本と出会う機会を創出するとともに、家庭での読書活動を支援します。
〇より多くの施設で、読み聞かせの実施、保護者向けの講演会の開催を通じて、乳幼児期の読書活動の重要性を伝えます。
〇放課後児童クラブとの連携を更に深め、夏休み期間の移動図書館を継続し、児童に読書の楽しさを伝えます。

⑧ **ボランティア**の育成・活動支援

取組	第1次	第2次

ボランティアの活動状況の把握	B	B
ボランティアとの連携	B	B
ボランティアの発掘と育成	C	C

現状と課題	学校園等に読み聞かせなどを行っているボランティア団体と絵本選びや読み方等の助言を行うなど相互協力に努めました。朗読を行っているボランティア団体と連携し、図書館で中学生以上を対象にした朗読会を開催しました。また、情報交換や活動状況についての確認を行いました。 課題としては、訪問先や活動内容を把握できていないボランティア団体があります。 また、ボランティアの発掘については、十分な取組ができていない状況です。

今後の取組

〇研修会等への案内を行い、読書支援に関する共通理解を図る工夫を進めます。

5. 関係機関の連携・協力

計画を推進するためには、家庭、地域、保育園（所）、こども園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校、図書館、子育て関連機関等、子どもの育成に関わる機関が、連携・協力して取り組むことが不可欠です。たつの市では下記の関係機関が連携を図り子どもの読書活動の推進に取り組みます。

施設名	所在地	電話番号
たつの市立神岡保育所	神岡町田中 668-2	0791-65-1193
社会福祉法人　岩見保育所	御津町岩見 1462	079-322-3657
社会福祉法人　西楽保育園	神岡町東觜崎 92-2	0791-65-1860
社会福祉法人　たんぽぽ保育園	龍野町宮脇 10-4	0791-63-2777
社会福祉法人　龍野太陽保育園	揖保町今市 334-1	0791-67-1351
社会福祉法人　東栗栖保育園	新宮町能地 338-2	0791-75-0188
社会福祉法人　香島保育園	新宮町香山 1430-1	0791-77-1014
たつの市立龍野こども園	龍野町上霞城 130	0791-62-0392
たつの市立小宅北こども園	龍野町片山 6	0791-63-0487
たつの市立小宅南こども園	龍野町富永 404	0791-63-4640
たつの市立揖西東こども園	揖西町清水 30-1	0791-66-0270
たつの市立揖西中こども園	揖西町構 47-1	0791-66-2405
たつの市立誉田こども園	誉田町広山 507-5	0791-63-0816
たつの市立西栗栖こども園	新宮町鍛冶屋 77	0791-78-0813
たつの市立新宮こども園	新宮町新宮 430-1	0791-75-4185
たつの市立神部こども園	揖保川町黍田 5-2	0791-72-2487
たつの市立御津北こども園	御津町中島 980	079-322-2278
たつの市立御津南こども園	御津町岩見 320	079-322-2502
社会福祉法人　認定こども園まことこども園	神岡町沢田 467-1	0791-65-1569
社会福祉法人　認定こども園すみれこども園	揖保町西構 46-1	0791-67-0337
社会福祉法人　認定こども園揖保みどり保育園	揖保町揖保中 97-3	0791-67-8055
社会福祉法人　認定こども園旭こども園	龍野町富永 16	0791-63-1848
社会福祉法人　認定こども園あそびの丘	揖保町小畑 541-1	0791-72-8825
社会福祉法人　認定こども園心光こども園	新宮町仙正 187-4	0791-75-3318
社会福祉法人　認定こども園第一仏光こども園	揖保川町山津屋 67-2	0791-72-3240
社会福祉法人　認定こども園まあや学園	揖保川町二塚 385-1	0791-72-4630

施設名	所在地	電話番号
社会福祉法人　認定こども園じょうせんこども園	御津町朝臣 130	079-322-1870
たつの市立龍野小学校	龍野町上霞城 86-2	0791-63-1371
たつの市立小宅小学校	龍野町日飼 105	0791-63-0279
たつの市立揖西東小学校	揖西町清水新 9	0791-66-0020
たつの市立揖西西小学校	揖西町住吉 142	0791-66-0021
たつの市立揖保小学校	揖保町西構 67	0791-67-8500
たつの市立誉田小学校	誉田町広山 580-1	0791-62-1529
たつの市立神岡小学校	神岡町上横内 51	0791-65-0010
たつの市立西栗栖小学校	新宮町鍛冶屋 252	0791-78-0344
たつの市立東栗栖小学校	新宮町能地 284	0791-75-0104
たつの市立香島小学校	新宮町香山 1160	0791-77-0009
たつの市立新宮小学校	新宮町新宮 437	0791-75-0056
たつの市立越部小学校	新宮町中野庄 197	0791-75-2303
たつの市立半田小学校	揖保川町新在家 166-2	0791-72-2281
たつの市立神部小学校	揖保川町黍田 434	0791-72-3020
たつの市立河内小学校	揖保川町金剛山 604	0791-72-2129
たつの市立御津小学校	御津町釜屋 206	079-322-0020
播磨高原広域事務組合立播磨高原東小学校	新宮町光都2丁目 6-1	0791-58-0328
たつの市立学童保育所龍野放課後児童クラブ	龍野町上霞城 86-2	0791-63-3341
たつの市立学童保育所小宅第1放課後児童クラブ	龍野町日飼 105	0791-63-0660
たつの市立学童保育所小宅第2放課後児童クラブ	龍野町日飼 105	0791-62-3636
たつの市立学童保育所小宅第3放課後児童クラブ	龍野町日飼 105	0791-63-5578
たつの市立学童保育所揖西東放課後児童クラブ	揖西町清水新 9	0791-66-3270
たつの市立学童保育所揖西西放課後児童クラブ	揖西町住吉 142	0791-66-3220
たつの市立学童保育所揖保放課後児童クラブ	揖保町西構 67	0791-67-2155
たつの市立学童保育所誉田放課後児童クラブ	誉田町広山 580-1	0791-62-9909
たつの市立学童保育所神岡放課後児童クラブ	神岡町上横内 51	0791-65-0028
たつの市立学童保育所西栗栖放課後児童クラブ	新宮町鍛冶屋 261	0791-78-0347
たつの市立学童保育所東栗栖放課後児童クラブ	新宮町能地 321	0791-75-0039
たつの市立学童保育所香島放課後児童クラブ	新宮町香山 1160	0791-77-1870
たつの市立学童保育所新宮放課後児童クラブ	新宮町新宮 437	0791-75-5507
たつの市立学童保育所越部放課後児童クラブ	新宮町中野庄 197	0791-75-5455

施設名	所在地	電話番号
たつの市立学童保育所半田放課後児童クラブ	揖保川町新在家 166-2	0791-72-7206
たつの市立学童保育所神部放課後児童クラブ	揖保川町黍田 434	0791-72-7208
たつの市立学童保育所河内放課後児童クラブ	揖保川町浦部 186-2	0791-72-7738
たつの市立学童保育所御津第 1 放課後児童クラブ	御津町釜屋 206	079-322-0912
たつの市立学童保育所御津第 2 放課後児童クラブ	御津町釜屋 206	079-322-0912
たつの市立龍野東中学校	龍野町日飼 100	0791-62-1117
たつの市立龍野西中学校	揖西町小神 30	0791-62-3681
たつの市立新宮中学校	新宮町宮内 426	0791-75-0079
たつの市立揖保川中学校	揖保川町正條 471	0791-72-2673
たつの市立御津中学校	御津町朝臣 414	079-322-0550
播磨高原広域事務組合立播磨高原東中学校	新宮町光都 2 丁目 4-1	0791-58-0981
兵庫県立龍野高等学校	龍野町日山 554	0791-62-0886
兵庫県立龍野北高等学校	新宮町芝田 125-2	0791-75-2900
兵庫県立播磨特別支援学校	揖西町中垣内乙 135-1	0791-66-0091
兵庫県立西はりま特別支援学校	新宮町光都 1 丁目 3-1	0791-59-8277
たつの市立龍野図書館	龍野町本町 57-1	0791-62-0469
たつの市立新宮図書館	新宮町宮内 75-1	0791-75-3332
たつの市立揖保川図書館	揖保川町正條 354-1	0791-72-7666
たつの市立御津図書館	御津町岩見 315-6	079-322-1007
龍野子育てつどいの広場	龍野町富永 410-2	0791-62-9255
新宮子育てつどいの広場	新宮町新宮 430-1	0791-75-4646
揖保川子育てつどいの広場	揖保川町山津屋 19-1	0791-72-6577
御津子育てつどいの広場	御津町朝臣 38-1	079-322-2208
中央児童館	龍野町富永 1005-1	0791-63-5118
はつらつセンター	龍野町富永 410-2	0791-63-2112

※令和8年4月現在

【資料】
「子どもの読書活動に関するアンケート調査」

子どもの読書に関するアンケートの実施について

（1） 目的

「第3次たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定するにあたり、子どもの読書活動の実態及び保護者の読書活動の意識を把握し、計画の策定に反映させるため、子どもの読書活動に関するアンケートを実施する。

（2） 調査対象及び調査方法

① 市内小学校・中学校の児童・生徒（無記名回答）

・各学年1学級対象（※学級の選定は各校に一任）
・小学校及び中学校を通して依頼し、各自タブレット端末から「兵庫県電子申請共同運営システム（e-ひょうご）」にて回答フォームに入力
・小学校1年生のみ紙媒体で実施し、回収

② 就学前の子どもをもつ保護者（無記名回答）

・市立保育園（所）・こども園に通園する園児（4・5歳児）の保護者に、各園を通じて依頼し、各自スマートフォンやタブレット端末から「兵庫県電子申請共同運営システム（e-ひょうご）」の回答フォームに入力

（3） アンケートの種類

① 小学校1、2年生用
② 小学校3、4年生用
③ 小学校5、6年生用
④ 中学校1、2、3年生用
⑤ 就学前の子どもをもつ保護者用（保育園（所）・こども園の4・5歳児の保護者）

（4） アンケート調査の内容

① 読書に対する意識（読書が好きか嫌いか）
② 読書量
③ 本を読む理由、読まない理由
④ 図書館の利用状況（学校図書館・公立図書館）
⑤ 家庭での読書環境
⑥ 電子書籍に対する意識
⑦ 就学前の子どもの保護者の読書に対する意識と子どもの状況
⑧「はじめましてえほん」について

（5）実施時期

令和8年7月上旬

（6）アンケート調査数

対　　象		調査人数（人）
小学校（17校）	1･2年生	535
	3･4年生	489
	5･6年生	522
中学校（6校）	1･2･3年生	344
保育園（所）･こども園（27園）	4･5歳児保護者	216
合計		2,106

（7）アンケート結果

【1･2年生】

問1　本を読むのが好きですか			
1	好き	322	60.2%
2	どちらかというと好き	117	21.9%
3	どちらかというと嫌い	45	8.4%
4	嫌い	47	8.8%
5	無効	4	0.7%
	合　計	535	100%

問2　【問1で1，2と答えた人】本を読むのが好きな理由は何ですか			
1	楽しいから、おもしろいから	208	47.4%
2	いろいろなことが分かるから	170	38.7%
3	先生や家の人が読んでくれるから	36	8.2%
4	友達が読んでいたから	7	1.6%
5	その他	16	3.6%
6	無効	2	0.5%
	合　計	439	100%

問3　【問1で3，4と答えた人】本を読むのが嫌いな理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	21	22.8%
2	自分で読むのは大変だから	17	18.5%
3	スポーツや外で遊ぶ方が楽しいから	23	25.0%
4	インターネット・ゲーム・テレビの方が楽しいから	23	25.0%
5	その他	5	5.4%
6	無効	3	3.3%
	合　計	92	100%

問4　本をよく読みますか			
1	よく読む	213	39.8%
2	時々読む	189	35.3%
3	あまり読まない	83	15.5%
4	読まない	38	7.1%
5	無効	12	2.3%
	合　計	535	100%

問5　よく読む本はどんな本ですか			
1	絵本、物語	215	40.2%
2	図鑑、伝記、ノンフィクション	146	27.3%
3	勉強の本	73	13.6%
4	その他	85	15.9%
5	無効	16	3.0%
	合　計	535	100%

問6　本を選ぶとき、どうやって選びますか			
1	友達や家族のおすすめ	148	27.7%
2	学校の先生のおすすめ	45	8.4%
3	インターネット、動画サイト、SNS	20	3.7%
4	図書館の展示やおすすめ	111	20.7%
5	その他	206	38.5%
6	無効	5	1.0%
	合　計	535	100%

問7　休み時間に学校の図書室に行きますか			
1	よく行く	58	10.8%
2	時々行く	162	30.3%
3	あまり行かない	124	23.2%
4	行かない	147	27.5%
5	無効	44	8.2%
	合　計	535	100%

問8　【問7で3，4と答えた人】図書室に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	42	15.5%
2	行きたいときに開いていない	31	11.4%
3	他にしたいことがある	174	64.2%
4	本が嫌い	21	7.7%
5	無効	3	1.2%
	合　計	271	100%

問9　たつの市の図書館に行きますか			
1	よく行く	126	23.6%
2	時々行く	134	25.0%
3	あまり行かない	101	18.9%
4	行かない	170	31.8%
5	無効	4	0.7%
	合　計	535	100%

問10 【問9で3，4と答えた人】図書館に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	26	9.6%
2	1人ではいけない	115	42.4%
3	ほかにしたいことがある	84	31.0%
4	本が嫌い	20	7.4%
5	無効	26	9.6%
	合　計	271	100%

問11　家の人に本を読んでもらいましたか			
1	よく読んでもらう	117	21.9%
2	ときどき読んでもらう	130	24.3%
3	あまり読んでもらわない	91	17.0%
4	読んでもらわない	192	35.9%
5	無効	5	0.9%
	合　計	535	100%

問12　図書館の「おはなし会」を知っていますか			
1	参加したことがある	119	22.2%
2	知っているけど、参加したことはない	88	16.4%
3	知らない	183	34.2%
4	知らなかったけど、参加してみたい	142	26.5%
5	無効	3	0.7%
	合　計	535	100%

問13　タブレットやスマートフォンで本を読んだことがありますか			
1	よく読む	53	9.9%
2	ときどき読む	68	12.7%
3	読んだことがある	54	10.1%
4	読んだことがない	355	66.4%
5	無効	5	0.9%
	合　計	535	100%

問14　【問13で1, 2, 3と答えた人】紙の本とタブレットやスマートフォンの本どちらが好きですか			
1	紙の本	50	28.6%
2	タブレットやスマートフォンの本	45	25.7%
3	どちらも好き	66	37.7%
4	どちらも好きではない	6	3.4%
5	無効	8	4.6%
	合　計	175	100%

【3･4 年生】

問1　本を読むのが好きですか			
1	好き	201	41.1%
2	どちらかというと好き	207	42.3%
3	どちらかというと嫌い	55	11.2%
4	嫌い	25	5.1%
5	無効	1	0.3%
	合　計	489	100%

問2　【問1で1, 2と答えた人】本を読むのが好きな理由は何ですか			
1	楽しいから、おもしろいから	170	41.8%
2	色々なことが分かるから	178	43.6%
3	先生や家の人にすすめられたから	10	2.5%
4	友達が読んでいたから	14	3.4%
5	その他	35	8.6%
6	無効	1	0.2%
	合　計	408	100%

問3　【問1で3, 4と答えた人】本を読むのが嫌いな理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	16	20.0%
2	自分で読むのは 、たいへんだから	9	11.3%
3	スポーツなど、外で遊ぶ方が楽しいから	31	38.8%
4	インターネット･ゲーム･テレビの方が 楽しいから	16	20.0%
5	その他	5	6.3%
6	無効	3	3.6%
	合　計	80	100%

問4　1 か月に何冊くらい本を読みますか			
1	10 冊以上	127	26.0%
2	5～9 冊	101	20.7%
3	1～4 冊	217	44.4%
4	読まない	44	8.9%
6	無効	0	0.0%
	合　計	489	100%

問5　1日に本を読む時間はどのくらいですか			
1	1 時間以上	39	8.0%
2	30 分以上～1 時間未満	86	17.6%
3	30 分未満	140	28.6%
4	10 分以内	159	32.5%
5	読まない	61	12.5%
6	無効	4	0.8%
	合　計	489	100%

問6　よく読む本はどんな本ですか			
1	絵本、物語、小説	223	45.6%
2	図鑑、伝記、ノンフィクション	147	30.1%
3	勉強の本	52	10.6%
4	その他	61	12.5%
5	無効	6	1.2%
	合　計	489	100%

問7　本を選ぶとき何を参考にしますか			
1	友達や家族のおすすめ	167	34.2%
2	学校の先生のおすすめ	12	2.5%
3	インターネット、動画サイト、SNS	18	3.7%
4	図書館のおすすめ（展示、夏休み推薦図書リストなど）	70	14.3%
5	その他	218	44.6%
6	無効	4	0.7%
	合　計	489	100%

問8　休み時間に学校の図書室に行きますか			
1	よく行く	23	4.7%
2	時々行く	179	36.6%
3	あまり行かない	170	34.8%
4	行かない	117	23.9%
5	無効	0	0.0%
	合　計	489	100%

問9　【問8で3，4と答えた人】図書室に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	38	13.2%
2	行きたいときに開いていない	41	14.3%
3	他にしたいことがある	185	64.5%
4	本が嫌い	18	6.3%
5	無効	5	1.7%
	合　計	287	100%

問10　たつの市の図書館に行きますか			
1	よく行く	69	14.1%
2	時々行く	163	33.3%
3	あまり行かない	150	30.7%
4	行かない	106	21.7%
5	無効	1	0.2%
	合　計	489	100%

問11　【問10で1，2と答えた人】図書館に行く頻度はどのくらいですか			
1	週に1回以上	36	15.5%
2	2週間に1回くらい	55	23.7%
3	1か月に1回くらい	73	31.5%
4	1年に何回か	67	28.9%
5	無効	1	0.4%
	合　計	232	100%

問12　【問10で1，2と答えた人】図書館に行く目的は何ですか			
1	本を借りる	181	78.0%
2	学びのスペースを利用する（自習）	14	6.0%
3	イベント（おはなし会、工作など）	10	4.3%
4	その他	15	6.5%
5	無効	12	5.2%
	合　計	232	100%

問13 【問10で3, 4と答えた人】図書館に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	29	11.3%
2	ひとりではいけない	135	52.7%
3	他にしたいことがある	74	28.9%
4	本が嫌い	15	5.9%
5	無効	3	1.2%
	合　計	256	100%

問14 小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか			
1	よく読んでもらった	252	51.5%
2	時々読んでもらった	142	29.0%
3	あまり読んでもらってない	52	10.6%
4	読んでもらったことがない	39	8.0%
5	無効	4	0.9%
	合　計	489	100%

問15 たつの市立図書館の「おはなし会」を知っていますか			
1	参加（さんか）したことがある	102	20.9%
2	知っているが、参加したことはない	161	32.9%
3	知らない	145	29.7%
4	知らなかったが、参加してみたい	77	15.7%
5	無効	4	0.8%
	合　計	489	100%

問16 タブレットやスマートフォンで本を読んだことがありますか			
1	よく読む	37	7.6%
2	ときどき読む	66	13.5%
3	読んだことがある	85	17.4%
4	まったく読んだことがない	296	60.5%
5	無効	5	1.0%
	合　計	489	100%

問17 【問16で1, 2, 3と答えた人】紙の本とタブレットやスマートフォンの本どちらが好きですか			
1	紙の本	109	58.0%
2	タブレット・スマートフォンの本	17	9.0%
3	どちらも好き	60	31.9%
4	どちらも好きではない	2	1.1%
5	無効	0	0.0%
	合　計	188	100%

【5・6 年生】

問1　本を読むのが好きですか			
1	好き	149	28.5%
2	どちらかというと好き	197	37.7%
3	どちらかというと嫌い	127	24.3%
4	嫌い	49	9.5%
5	無効	0	0.0%
	合　計	522	100%

問2　【問1で1, 2と答えた人】本を読むのが好きな理由は何ですか			
1	楽しいから、おもしろいから	196	56.6%
2	色々なことが分かるから	115	33.2%
3	先生や家の人にすすめられたから	7	2.0%
4	友達が読んでいたから	9	2.6%
5	その他	18	5.2%
6	無効	1	0.4%
	合　計	346	100%

問3　【問1で3, 4と答えた人】本を読むのが嫌いな理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	35	19.9%
2	自分で読むのは 、たいへんだから	22	12.5%
3	スポーツなど、外で遊ぶ方が楽しいから	59	33.5%
4	インターネット・ゲーム・テレビの方が 楽しいから	50	28.4%
5	その他	8	4.5%
6	無効	2	1.2%
	合　計	176	100%

問4　1か月に何冊くらい本を読みますか			
1	10冊以上	50	9.6%
2	5～9冊	69	13.2%
3	1～4冊	291	55.7%
4	読まない	111	21.3%
6	無効	1	0.2%
	合　計	522	100%

問5　1日に本を読む時間はどのくらいですか			
1	1時間以上	36	6.9%
2	30分以上～1時間未満	81	15.5%
3	30分未満	132	25.3%
4	10分以内	151	28.9%
5	読まない	120	23.0%
6	無効	2	0.4%
	合　計	522	100%

問6　よく読む本はどんな本ですか			
1	絵本、物語、小説	284	54.4%
2	図鑑、伝記、ノンフィクション	98	18.8%
3	勉強の本	35	6.7%
4	その他	94	18.0%
5	無効	11	2.1%
	合　計	522	100%

問7　本を選ぶとき何を参考にしますか			
1	友達や家族のおすすめ	139	26.6%
2	学校の先生のおすすめ	10	1.9%
3	インターネット、動画サイト、SNS	72	13.8%
4	図書館のおすすめ（展示、夏休み推薦図書リストなど）	79	15.1%
5	その他	216	41.4%
6	無効	6	1.2%
	合　計	522	100%

問8　休み時間に学校の図書室に行きますか			
1	よく行く	42	8.0%
2	時々行く	175	33.5%
3	あまり行かない	143	27.4%
4	行かない	162	31.1%
5	無効	0	0.0%
	合　計	522	100%

問9　【問8で3，4と答えた人】図書室に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	66	21.6%
2	行きたいときに開いていない	13	4.3%
3	他にしたいことがある	206	67.5%
4	本が嫌い	17	5.6%
5	無効	3	1.0%
	合　計	305	100%

問10　たつの市の図書館に行きますか			
1	よく行く	35	6.7%
2	時々行く	134	25.7%
3	あまり行かない	183	35.1%
4	行かない	168	32.2%
5	無効	2	0.3%
	合　計	522	100%

問11　【問10で1，2と答えた人】図書館に行く頻度はどのくらいですか			
1	週に1回以上	11	6.5%
2	2週間に1回くらい	30	17.8%
3	1か月に1回くらい	70	41.4%
4	1年に何回か	58	34.3%
5	無効	0	0.0%
	合　計	169	100%

問12 【問10で1, 2と答えた人】図書館に行く目的は何ですか			
1	本を借りる	134	79.3%
2	学びのスペースを利用する(自習)	9	5.3%
3	イベント(おはなし会、工作など)	6	3.6%
4	その他	15	8.9%
5	無効	5	2.9%
	合　計	169	100%

問13 【問10で3, 4と答えた人】図書館に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がない	62	17.7%
2	ひとりではいけない	120	34.2%
3	他にしたいことがある	154	43.9%
4	本が嫌い	14	4.0%
5	無効	1	0.2%
	合　計	351	100%

問14 小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか			
1	よく読んでもらった	247	47.3%
2	時々読んでもらった	176	33.7%
3	あまり読んでもらってない	69	13.2%
4	読んでもらったことがない	28	5.4%
5	無効	2	0.4%
	合　計	522	100%

問15 たつの市立図書館の「おはなし会」を知っていますか			
1	参加(さんか)したことがある	95	18.2%
2	知っているが、参加したことはない	121	23.2%
3	知らない	271	51.9%
4	知らなかったが、参加してみたい	35	6.7%
5	無効	0	0.0%
	合　計	522	100%

問16　タブレットやスマートフォンで本を読んだことがありますか			
1	よく読む	36	6.9%
2	ときどき読む	70	13.4%
3	読んだことがある	133	25.5%
4	まったく読んだことがない	281	53.8%
5	無効	2	0.4%
	合　計	522	100%

問17【問16で1, 2, 3と答えた人】紙の本とタブレットやスマートフォンの本どちらが好きですか			
1	紙の本	109	45.6%
2	タブレット・スマートフォンの本	17	7.1%
3	どちらも好き	60	25.1%
4	どちらも好きではない	3	1.3%
5	無効	50	20.9%
	合　計	239	100%

【中学生】

問1　本を読むのが好きですか			
1	好き	81	23.5%
2	どちらかというと好き	129	37.5%
3	どちらかというと嫌い	93	27.0%
4	嫌い	41	12.0%
5	無効	0	0.0%
	合　計	344	100%

問2　【問1で1, 2と答えた人】本を読むのが好きな理由は何ですか			
1	楽しいから、おもしろいから	128	61.0%
2	色々なことが分かるから	55	26.2%
3	先生や家の人にすすめられたから	8	3.8%
4	友達が読んでいたから	7	3.3%
5	その他	12	5.7%
6	無効	0	0.0%
	合　計	210	100%

問3　【問1で3，4と答えた人】本を読むのが嫌いな理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	18	13.4%
2	自分で読むのは 、たいへんだから	39	29.1%
3	スポーツなど、外で遊ぶ方が楽しいから	25	18.7%
4	インターネット（動画サイト、SNS）・ゲーム・テレビの方が楽しいから	46	34.3%
5	その他	5	3.7%
6	無効	1	0.8%
	合　計	134	100%

問4　1 か月に何冊くらい本を読みますか			
1	10 冊以上	21	6.1%
2	5～9 冊	18	5.2%
3	1～4 冊	197	57.3%
4	読まない	108	31.4%
6	無効	0	0.0%
	合　計	344	100%

問5　1日に本を読む時間はどのくらいですか			
1	1 時間以上	19	5.5%
2	30 分以上～1 時間未満	43	12.5%
3	30 分未満	62	18.0%
4	10 分以内	80	23.3%
5	読まない	139	40.4%
6	無効	1	0.3%
	合　計	344	100%

問6　読書をする時間が取れない理由は何ですか			
1	部活動	69	20.1%
2	塾、習い事	83	24.1%
3	家事の手伝い	7	2.0%
4	インターネット（動画サイト、SNS）・ゲーム・テレビ	173	50.3%
5	無効	12	3.5%
	合　計	344	100%

問7　よく読む本の種類は何ですか			
1	小説、物語	194	56.4%
2	図鑑、伝記、ノンフィクション	26	7.6%
3	学習・勉強の本	35	10.2%
4	その他	82	23.8%
5	無効	7	2.0%
	合　計	344	100%

問8　本を選ぶとき、参考にするものは何ですか			
1	友達や家族のおすすめ	86	25.0%
2	学校の先生のおすすめ	1	0.3%
3	インターネット、動画サイト、SNS	117	34.0%
4	図書館のおすすめ（展示、夏休み推薦図書リストなど）	21	6.1%
5	その他	115	33.4%
6	無効	4	1.2%
	合　計	344	100%

問9　休み時間に学校の図書室に行きますか			
1	よく行く	12	3.5%
2	時々行く	32	9.3%
3	あまり行かない	61	17.7%
4	行かない	239	69.5%
5	無効	0	0.0%
	合　計	344	100%

問10 【問9で3，4と答えた人】図書室に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	47	15.7%
2	行きたいときに開いていないから	16	5.3%
3	他にしたいことがあるから	161	53.7%
4	本が嫌いだから	27	9.0%
5	その他	48	16.0%
6	無効	1	0.3%
	合　計	300	100%

問11　たつの市の図書館に行きますか			
1	よく行く	15	4.4%
2	時々行く	68	19.8%
3	あまり行かない	91	26.5%
4	行かない	169	49.1%
5	無効	1	0.2%
	合　計	344	100%

問12 【問11で1, 2と答えた人】図書館に行く頻度はどのくらいですか			
1	週に1回以上	7	8.4%
2	2週間に1回くらい	10	12.0%
3	1か月に1回くらい	31	37.3%
4	1年に何回か	35	42.3%
5	無効	0	0.0%
	合　計	83	100%

問13 【問11で1, 2と答えた人】図書館や図書室を利用する目的は何ですか			
1	本を借りる・読む	49	59.0%
2	調べものをする	3	3.6%
3	学びのスペース（自習）	25	30.1%
4	友達と遊びに行く	0	0.0%
5	その他	2	2.4%
	合　計	83	100%

問14 【問11で3, 4と答えた人】図書館に行かない理由は何ですか			
1	読みたい本がないから	31	11.9%
2	他にしたいことがあるから	133	51.2%
3	本が嫌いだから	25	9.6%
4	その他	71	27.3%
5	無効	0	0.0%
	合　計	260	100%

問15　どのような図書館なら利用したいですか			
1	会話ができる	83	24.1%
2	飲食ができる	89	25.9%
3	静かで集中できる	96	27.9%
4	楽しそうなイベントをよく開催している	65	18.9%
5	無効	11	3.2%
	合　計	344	100%

問16　小さいころ家の人に本を読んでもらいましたか			
1	よく読んでもらった	165	48.0%
2	時々読んでもらった	120	34.9%
3	あまり読んでもらってない	41	11.9%
4	読んでもらったことがない	15	4.4%
5	無効	3	0.8%
	合　計	344	100%

問17　1日のうちで、インターネット、スマートフォン、ゲームなどをする時間はどのくらいですか			
1	1 時間未満	34	9.9%
2	1 時間以上～2 時間未満	91	26.5%
3	2 時間以上～3 時間未満	94	27.3%
4	3 時間以上	125	36.3%
5	無効	0	0.0%
	合　計	344	100%

問18　電子書籍（タブレットやスマートフォンで読む本）を読んだことがありますか			
1	よく読む	41	11.9%
2	ときどき読む	55	16.0%
3	読んだことがある	103	29.9%
4	読んだことがない	145	42.2%
5	無効	0	0.0%
	合　計	344	100%

問19 【問18で1, 2, 3と答えた人】紙の本と電子書籍はどちらが好きですか			
1	紙の本	86	43.2%
2	電子書籍(タブレット・スマートフォン)の本	36	18.1%
3	どちらも好き	61	30.7%
4	どちらも好きではない	16	8.0%
5	無効	0	0.0%
	合　計	199	100%

問20 たつの市立図書館が運営する電子図書館サービスを利用したことがありますか			
1	よく利用する	10	2.9%
2	ときどき利用する	41	11.9%
3	知っているが、利用したことがない	82	23.8%
4	知らなかった	210	61.0%
5	無効	1	0.4%
	合　計	344	100%

【保護者】

問1　読書(読み聞かせ)は子どもの健やかな成長に重要であると思いますか			
1	とても重要	144	66.7%
2	ある程度重要	70	32.4%
3	あまり重要ではない	1	0.5%
4	重要ではない	0	0.0%
5	無効	1	0.4%
	合　計	216	100%

問2　お子様に読み聞かせをしていますか			
1	毎日している	38	17.6%
2	週に１回以上している	84	38.9%
3	月に１回以上している	67	31.0%
4	していない	27	12.5%
5	無効	0	0.0%
	合　計	216	100%

問3　【問2で3，4と答えた人】読み聞かせをしていない理由は何ですか			
1	忙しくて時間がないから	57	60.6%
2	読んであげてもあまり聞かないから	14	14.9%
3	家に本がない、何を読めばいいのかわからないから	0	0.0%
4	子どもが自分で読むから	13	13.8%
5	その他	10	10.7%
6	無効	0	0.0%
	合　計	94	100%

問4　お子様は本（読み聞かせも含む）が好きだと思いますか			
1	とても好き	78	36.1%
2	好き	117	54.2%
3	あまり好きではない	20	9.3%
4	きらい	1	0.4%
5	無効	0	0.0%
	合　計	216	100%

問5　子どもの本を借りるために、公共図書館（たつの市立図書館等）へ行きますか			
1	よく行く	36	16.7%
2	ときどき行く	62	28.7%
3	ほとんど行かない	73	33.8%
4	行ったことがない	45	20.8%
5	無効	0	0.0%
	合　計	216	100%

問6　【問5で1，2と答えた人】たつの市の図書館に行く頻度はどのくらいですか			
1	週に1回以上	3	3.1%
2	2 週間に 1 回	39	39.8%
3	1 か月に 1 回	37	37.8%
4	1 年に何回か	19	19.3%
5	無効	0	0.0%
	合　計	98	100%

問7　【問5で 3, 4と答えた人】たつの市立図書館に行かない理由は何ですか			
1	子どもが本を読まないから	6	5.1%
2	時間がないから	37	31.4%
3	本は買っているから	29	24.6%
4	破損や紛失が心配だから	21	17.8%
5	その他	24	20.3%
6	無効	1	0.8%
	合　計	118	100%

問8　子どもの本を選ぶときに参考にするものは何ですか			
1	友達や家族のおすすめ	27	12.5%
2	学校の先生のおすすめ	9	4.2%
3	インターネット、動画サイト、SNS	52	24.1%
4	図書館の展示	64	29.6%
5	その他	64	29.6%
6	無効	0	0.0%
	合　計	216	100%

問9　たつの市立図書館で毎月開催されている「おはなし会」を知っていますか			
1	参加したことがある	48	22.2%
2	知っているが、参加したことはない	126	58.3%
3	知らない	32	14.8%
4	知らなかったが、参加してみたい	10	4.7%
5	無効	0	0.0%
	合　計	216	100%

問10　たつの市立図書館が展開している電子図書館サービスを利用したことがありますか			
1	よく利用する	1	0.5%
2	ときどき利用する	10	4.6%
3	知っているが、利用したことがない	77	35.6%
4	知らなかった	127	58.8%
5	無効	1	0.5%
	合　計	216	100%

問11　たつの市立図書館に力を入れてほしい児童サービスは何ですか			
1	蔵書(紙の図書)の充実	59	27.3%
2	イベントの充実(おはなし会を含む)	59	27.3%
3	電子図書館サービスの充実	24	11.1%
4	移動図書館サービスの充実	33	15.3%
5	その他	37	17.1%
6	無効	4	1.9%
	合　計	216	100%

（はじめましてえほん事業に関するアンケート）

問1　「はじめましてえほん」でもらった絵本は、お子様と一緒に読みましたか			
1	よく読んだ	76	35.2%
2	時々読んだ	71	32.9%
3	あまり読まなかった	18	8.3%
4	読まなかった	6	2.8%
5	無効	45	20.8%
	合　計	216	100%

問2　「はじめましてえほん」でもらったバッグは使っていますか			
1	よく使っている	38	17.6%
2	時々使っている	45	20.8%
3	あまり使っていない	50	23.1%
4	使わなかった	37	17.1%
5	無効	46	21.4%
	合　計	216	100%

問3　「はじめましてえほん」でもらった絵本は、家庭での読み聞かせのきっかけになりましたか			
1	とてもなった	55	25.5%
2	少しなった	77	35.6%
3	あまりならなかった	21	9.7%
4	ならなかった	17	7.9%
5	無効	46	21.3%
	合　計	216	100%

問4　「はじめましてえほん」でもらった絵本について、どう感じましたか			
1	とても良かった	55	25.5%
2	良かった	73	33.8%
3	普通	34	15.7%
4	あまり良くなかった	9	4.2%
5	無効	45	20.8%
	合　計	216	100%

問5　「はじめましてえほん」をきっかけに図書館を利用しましたか			
1	利用した	82	38.0%
2	利用していないが、図書館をいつか利用したいと感じた	31	14.4%
3	利用していないが、図書館のことを知るきっかけになった	19	8.8%
4	利用していない	39	18.1%
5	無効	45	20.7%
	合　計	216	100%

問6　【問5で1，2と答えた方で、たつの市の図書館に行く頻度はどのくらいですか			
1	週に1回以上	3	2.7%
2	2 週間に 1 回	39	34.5%
3	1 か月に 1 回	37	32.7%
4	1 年に何回か	19	16.8%
5	無効	15	13.3%
	合　計	113	100%

問7　「はじめましてえほん」で役立ったものは何ですか			
1	絵本	105	48.6%
2	絵本バッグ	54	25.0%
3	図書館についての説明	7	3.2%
4	図書館の行事についての説明	4	1.9%
5	無効	46	21.3%
	合　計	216	100%

問8　今後も「はじめましてえほん」は必要だと思いましたか			
1	とても思う	69	31.9%
2	思う	87	40.3%
3	あまり思わない	11	5.1%
4	思わない	4	1.9%
5	無効	45	20.8%
	合　計	216	100%

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成 13 年法律第 154 号

（目的）

第一条　この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第二条　子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第三条　国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第四条　地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第五条　事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第六条　父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第七条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第八条　政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

２　政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

３　前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条　都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

２　市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

３　都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

４　前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条　国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

２　子ども読書の日は、四月二十三日とする。

３　国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条　国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

第３次たつの市子どもの読書活動推進計画

発行年：令和９年（2027 年）　月
発　行：たつの市
編　集：たつの市教育委員会
〒679－4192
兵庫県たつの市龍野町富永 1005－1
電話　0791-64-3180
FAX　0791-63-3883
URL　https://www.city.tatsuno.lg.jp/